学校情報

1. 概要

目標

学校教育法の規程に基づき、洋裁に関する専門的技術及び理論を習得させ、 職業もしくは実生活に必要な能力の育成と教育の向上を図ることを目的として、 70年間歩んでまいりました。その間に、公立、私立高校のファッションの授 業を担当、当校の教員を派遣したり、職業教育ガイダンス学習に参加したり、 高等学校との連携の強化、夏休み体験学習や学校説明会の機会を増やし、生徒 募集活動にも力を入れてまいりました。

また、アパレル技術者養成のため、早期にアパレル CAD の導入、フォトショップの授業やアパレルメーカーへのインターンシップなど様々な授業展開をし、毎年卒業生を確実にアパレル企業に輩出してまいりましたが、今まで以上にアパレル企業との交流を密にして、企業で必要となる実務に関する知識、技術、技能などを把握し、実践的かつ専門的な職業教育の質を確保することを目標とします。

経営方針

企業との連携を密にとることにより、研修等を行い、教員の質の向上を図る とともに学校評価及び情報提供を積極的に行い、職場での即戦力となる人材教 育、経営努力をしてまいります。

校長名 櫻井 則子

所在地 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-9-5

連絡先 [TEL] 045-501-5460

[FAX] 0 4 5 - 5 2 1 - 4 7 3 1

[E-mail] yfd@yfd-c.com

沿革

昭和23年10月 女子の洋裁に関する技術及び理論の習得を目的として神奈川県より設置認可。

昭和28年 5月 財団法人櫻井学園、設置認可。

昭和51年 8月 教育基本法及び学校教育法に基づき専門学校教育を行う。 「ファッション専門学校」として洋裁に関する専門技術及 び理論習得を目的とした専門課程の設置認可。

平成 6年 4月 新校舎の竣工に伴い「横浜ファッションデザイン専門学校」に校名変更。服飾家庭専門課程 ファッションクリエイティブ科(昼夜2年制)、ファッションデザイン科(昼1年制)、ファッションビジネス科(昼2年制)、生活デザイン科(昼2年制)の課程設置認可を受ける。

平成11年 4月 緊急再就職促進訓練委託(アパレル CAD デザインコース) を平成14年3月まで委託。

平成13年10月 横浜市より平成14年3月までIT講習(12時間)800 人を委託訓練。

平成14年 5月 平成15年3月まで雇用促進事業団よりビジネスアプリケーション科を委託、訓練を行う。

平成20年 4月 学校法人桜井学園、設立認可。

平成26年 4月 文部科学省 職業実践専門課程認定校となる。

認定学科

昼間部ファッションクリエイティブ科ファッションビジネス科夜間部ファッションクリエイティブ科

グローバルビジネス科(進学課程1年制)の設置認可。

平成28年 4月 夜間部 ファッションビジネス科(2年制)の設置許可。

平成31年 4月 夜間部 ファッションビジネス科 職業実践専門課程認定

令和 1年 4月 高等教育の修学支援新制度の確認校

令和 2年 4月 高等教育の修学支援新制度の確認校

令和 3年 4月 高等教育の修学支援新制度の確認校

ル 桜井学園 学生寮整備

令和 4年 4月 高等教育の修学支援新制度の確認校

2. 各学科概要

● ファッションクリエイティブ科

定員

26名

資格取得

必須	取得可能資格				
パターンメーキング技術検定	東レアパレル CAD 検定				
日本洋裁技術検定	ファッションビジネス能力検定				
色彩検定(AFT)	リテールマーケティング(販売士)検定				
秘書技能検定	実用英語検定				
	繊維製品品質管理士				
	TOEIC				
	フォーマルスペシャリストブロンズライセンス				

● ファッションビジネス科

定員

70名

資格取得

必須	取得可能資格				
色彩検定(AFT)	実用英語検定				
秘書技能検定	繊維製品品質管理士				
ファッションビジネス検定	TOEIC				
リテールマーケティング (販売士) 検定	アシスタントブライダルコーディネーター検定				
ファッション販売能力検定	フォーマルスペシャリストブロンズライセンス				
POP 広告クリエイター技能審査試験					
商品装飾展示技能士(国家資格)					

● ファッションデザイン科(進学課程)

定員

15名

資格取得

必須	取得可能資格				
パターンメーキング技術検定	日本洋裁技術検定				
色彩検定(AFT)					
秘書技能検定					

グローバルビジネス科(進学課程)

定員

20名

資格取得

必須	取得可能資格			
繊維製品品質管理士	実用英語検定			
色彩検定(AFT)	TOEIC			
秘書技能検定				
ファッションビジネス検定				
リテールマーケティング (販売士) 検定				

ファッション販売能力検定
品装飾展示技能士(国家資格)

● 夜間部 ファッションクリエイティブ科

定員 4月生:10名 10月生:10名

資格取得

必須	取得可能資格			
パターンメーキング技術検定	東レアパレル CAD 検定			
日本洋裁技術検定	ファッションビジネス能力検定			
色彩検定(AFT)	リテールマーケティング(販売士)検定			
秘書技能検定	繊維製品品質管理士			

● 夜間部 ファッションビジネス科

定員 4月生:10名

資格取得

必須	取得可能資格			
色彩検定(AFT)	繊維製品品質管理士			
秘書技能検定	POP 広告クリエイター技能審査試験			
ファッションビジネス能力検定				
リテールマーケティング (販売士) 検定				
ファッション販売能力検定				
商品装飾展示技能士(国家資格)				

● 夜間部ファッションデザイン科(進学課程)

定員 4月生:5名 10月生:5名

資格取得

必須	取得可能資格			
パターンメーキング技術検定	日本洋裁技術検定			
色彩検定(AFT)				
秘書技能検定				

● 夜間部グローバルビジネス科(進学課程)

定員 5名

資格取得

必須	取得可能資格		
繊維製品品質管理士	実用英語検定		
色彩検定(AFT)	TOEIC		
秘書技能検定			
ファッションビジネス検定			
リテールマーケティング (販売士) 検定			
ファッション販売能力検定			
商品装飾展示技能士(国家資格)			

3. 教職員

● ファッションクリエイティブ科 13名 ファッションビジネス科 17名 ● ファッションデザイン科(進学課程) 7名 グローバルビジネス科(進学課程) 8名 ● 夜間部ファッションクリエイティブ科 10名 ● 夜間部ファッションビジネス科 7名 ● 夜間部ファッションデザイン科(進学課程) 0名 ● 夜間部グローバルビジネス科(進学課程) 0名

4. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取り組み状況 : インターンシップを実施

実習・実技等への取り組み状況 : ファッション業界のプロによる実習、演習を実施 就職支援等への取り組み支援 : 担任及びキャリアアドバイザーによる指導を実施

5. 学校行事

4月 入学式

5月 「横浜ファッションウィーク」 (赤レンガ倉庫等)

8月 「YFD アートコレクション」 (当校 2F)

2月 「YFD ファッションコレクション」(鶴見区民文化センター サルビアホール)

3月 卒業式

★ その他、様々な企業とのコラボレーション

ゆかたショー

ワークショップ

ファッションショー

6. 学生の生活支援

- 奨学金制度
 - 桜井学園奨学金制度
 - 1. 成績優秀者奨学金

【概要】成績優秀な2学年以上の学生に対し、奨学金として、学費の減免を行う。

【対象】2学年以上で担任が推薦する者

【予算および支援総額】

年度	予算	支援総額		
平成 28 年度	2,280,000 円	0 円		
平成 29 年度	2,280,000 円	0 円		
平成 30 年度	2,280,000 円	0 円		
2019 年度	2,280,000 円	224,000 円		
2020 年度	2,280,000 円	0 円		
2021 年度	2,280,000 円	134,000 円		
2022 年度	2,280,000 円			

2. 経済的支援奨学金(平成28年度より実施)

【要件】生活保護法による保護費の受給世帯の学生 税額控除前の個人住民税所得割非課税世帯の生徒

【人数】若干名

【金額】20万円 【選考方法】面接

【予算および支援総額】

年度	予算	支援総額		
平成 30 年度	600,000 円	0 円		
2019 年度	600,000 円	200,000 円		
2020 年度	600,000 円	0 円		
2021 年度	600,000 円	0 円		
2022 年度	600,000 円			

- 独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金
- 私費外国人留学生学習奨励費 ※ 詳細はお問合せください。

● 教育ローン

- 国の教育ローン 日本政策金融公庫
- 中央ろうきん教育ローン 他

● 提携寮

• 株式会社共立メンテナンス 学生会館事務局

TEL 03-5295-7791

• 橘・学生会館 入館事務センター

TEL 03-3375-5052

7. 納付金

【昼間部】入学時及び進学時に納入する金額

平成 24 年度~平成 25 年度

学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
ファッションクリエイティブ科	222 222	前期	70,000	80,000	228,000	598,000	050,000
	220,000	後期	70,000	60,000	228,000	358,000	956,000
ファッションビジネス科	220,000	前期	70,000	80,000	228,000	598,000	050,000
		後期	70,000	60,000	228,000	358,000	956,000
ザッカ・インテリア科	990,000	前期	70,000	80,000	228,000	598,000	000 000
	220,000	後期	70,000	70,000	228,000	368,000	966,000
ファッションデザイン科	100,000	前期	70,000	80,000	228,000	378,000	746,000
	(外部入学者)	後期	70,000	70,000	228,000	368,000	(846,000)

平成 26 年度~平成 28 年度

学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
ファッションクリエイティブ科	990,000	前期	70,000	70,000	240,000	600,000	000 000
ファッショングリエイティブ科	220,000	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	980,000
ファッションビジネス科	990,000	前期	70,000	70,000	240,000	600,000	000 000
ノアツンヨンロン不入件	220,000	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	980,000
ファッションデザイン科	100,000	前期	70,000	80,000	240,000	390,000	770,000
ファッションフリイン科	(外部入学者)	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	(870,000)
グローバルビジネス科	100,000	前期	70,000	80,000	240,000	390,000	770,000
クローバルロン不入村	(外部入学者)	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	(870,000)

平成 29 年度~

学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
ファッションクリエイティブ科	100,000	前期	70,000	70,000	290,000	550,000	000 000
ファッショングリエイティア科	120,000	後期	70,000	70,000	290,000	430,000	980,000
ファッションビジネス科	100,000	前期	70,000	70,000	290,000	550,000	000 000
ノアツンヨンロンイス件	120,000	後期	70,000	70,000	290,000	430,000	980,000
ファッションデザイン科	100,000	前期	70,000	80,000	240,000	390,000	770,000
ファッションテリイン件	(外部入学者)	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	(870,000)
グローバルビジネス科	100,000	前期	70,000	80,000	240,000	390,000	770,000
クローバルロン不入村	(外部入学者)	後期	70,000	70,000	240,000	380,000	(870,000)

【夜間部】入学時及び進学時に納入する金額

平成 24 年度~平成 25 年度

	学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
ファッションクリエイティブ科	110,000	前期	50,000	20,000	132,000	312,000	404.000	
779	ンヨンクリエイティノ科	110,000	後期	50,000	_	132,000	182,000	494,000
7.	アッションデザイン科	60,000	前期	50,000	20,000	132,000	202,000	384,000
	アツションケリイン科	(外部入学者)	後期	50,000	_	132,000	182,000	(444,000)

平成 26 年度~平成 27 年度

学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
- \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	110,000	前期	50,000	20,000	150,000	330,000	200 000
ファッションクリエイティブ科	110,000	後期	50,000	_	150,000	200,000	530,000
ファッションデザイン科	60,000	前期	50,000	20,000	150,000	220,000	420,000
ファッション	(外部入学者)	後期	50,000	_	150,000	200,000	(480,000)
グローバルビジネス科	60,000	前期	50,000	20,000	150,000	220,000	420,000
グローバルビンネス科	(外部入学者)	後期	50,000	_	150,000	200,000	(480,000)

平成 28 年度~

学科	入学金		維持費	実習費	授業料	合計	年額
ファッションクリエイティブ科	110,000	前期	50,000	20,000	150,000	330,000	200 000
ファッショングッエイティブ科	110,000	後期	50,000	_	150,000	200,000	530,000
ファッションビジネス科	110,000	前期	50,000	20,000	15,000	330,000	500 000
ファッションヒン不入村	110,000	後期	50,000	_	150,000	200,000	530,000
ファッションデザイン科	60,000	前期	50,000	20,000	150,000	220,000	420,000
ファッションテッイン科	(外部入学者)	後期	50,000	_	150,000	200,000	(480,000)
グローバルビジネス科	60,000	前期	50,000	20,000	150,000	220,000	420,000
グローバルビン木入科	(外部入学者)	後期	50,000	_	150,000	200,000	(480,000)

[※] 別途教材費がかかります。

8. 学校財務

監査報告書

9. 学校評価

学校評価表

10. 国際連携の状況

留学生の受け入れ: 中国、韓国、ミャンマー、ネパール、フィリピン等、多国籍の留学生が在

籍。

入学要件: 高等学校、またはこれに準ずる学校を卒業した者

外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

卒業後の進路 : 就職、進学、帰国

令和4年度 横浜ファッションデザイン専門学校 自己評価表

(4点満点)

	項目	評価点
教育	理念・目標	
1	教育理念等を明確に示されているか。	4.0
2	教育目標は定期的に見直されているか。	4.0
3	教育理念等が教職員・学生に浸透しているか。	4.0
4	教育理念等を公表しているか。	4.0
学校	運営	
1	理事会が定期的に開催されているか。	4.0
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.0
3	就業規則はあるか。	4.0
4	出退勤が適切に管理されているか。	4.0
5	教職員の健康診断を実施しているか。	4.0
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4.0
教育	活動	
1	カリキュラムには教育目標が反映されているか。	4.0
2	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュ	4.0
	ラムの作成や見直し等が行われているか。	4.0
3	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4.0
4	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づ	4.0
4	けはあるか。	4.0
5	目標に到達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。	4.0
6	人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教	4.0
U	員を確保しているか。	4.0
7	非常勤講師との情報の共有を図っているか。	4.0
学修	成果	
1	就職率の向上が図られているか。	4.0
2	資格取得率の向上が図られているか。	4.0
3	退学率の低減が図られているか。	4.0
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3.7
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活 用されているか。	4.0

学生	支援	
1	学生相談に関する体制は整備されているか。	4.0
2	進路・就職について相談できる担当者がいるか。	4.0
3	奨学金等、経済的支援は整備されているか。	4.0
4	学生の健康診断を実施しているか。	4.0
5	保護者と適切に連携しているか。	4.0
6	卒業生への支援体制はあるか。	4.0
7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り 組みが行われているか。	4.0
8	防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	4.0
9	セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	4.0
 教育		1.0
1	教室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4.0
2	教育用機器や備品は整備され、活用されているか。	4.0
3	図書室は適切に整備されているか。	4.0
4	保健室は適切に整備されているか。	4.0
学生	の受け入れ募集	
1	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期 は適切か。	4.0
2	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	4.0
3	募集要項の内容は適切か。	4.0
4	学生募集活動において、資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4.0
5	学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。	4.0
6	入学選抜の時期、方針、方法は適切か。	4.0
7	学生納付金は妥当なものとなっているか。	4.0
財務		
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4.0
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.0
3	財務について会計監査が適正に行われているか。	4.0
法令	等の遵守	
1	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.0
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.0
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4.0
4	自己評価表を公開しているか。	4.0

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月		長名	〒		所在地			
横浜ファッシ		昭和51年8月1		~「 櫻井則子	 (住所)	230-0051 横浜市鶴見区鶴見中9	央1-9-5			
デザイン専門: 設置者名	学校	設立認可年月		長者名	(電話)	045-501-5460	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
					〒 (分配)	230-0051				
学校法人 桜井 		平成20年4月		櫻井武美 	(住所) (電話)	横浜市鶴見区鶴見中9 045-501-5460				
分野	認定課	呈名	認定学科/			字門士認定年度 文部科学省 告	高度専門士認定4	丰度 堆	職業実践専	門課程認定年
服飾・家政	服飾・家政	專門課程	プリプレコングラー 科	_	1 13% 1 — 2	示第146号	_		平成2	6年4月1日
学科の目的	する。					術を習得すると共に、関連				
科の特徴(取得可 能な資格、中退率 等)	- ■取得可能な資格 グ検定、フォーマル ■中途退学者:32 ■中退率:5.6%	レスペシャリス	キング検定、洋裁技術 トブロンズライセンス	検定、東レア 、繊維製品品	アパレルCA 品質管理士	AD検定、色彩検定、秘書技	技術検定、ファッション	ゲジネス能力を	検定、リテ	ールマーケティ
修業年限	昼夜 全課程		総授業時数又は総単位 数	講	義	演習	実習	実験		実技
2		間、単位いずれ	2,000 単位時間	470	単位時間	0 単位時間	1,450 単位時間	0 単位	立時間	80 単位時間
年		_	単位		単位	単位	単位	単位	立	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	引合(B/A)					
52 人	46 人		4 人	9	%	7				
	■卒業者数 (C) ■就職希望者数 (רט .	22 16		人					
	■就職者数 (E)		9		人					
	■地元就職者数(■就職率(E/D)	F)	0 56		人 %					
	■就職者に占める	地元就職者の害	J合 (F/E)							
	■卒業者に占める	就職者の割合(%					
	■進学者数		41		人					
就職等の状況	■ その他					_				
	■主な就職先、業	71. 47								
	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株)	オンデーズ、		マイナック	、㈱三恵	、㈱モリ商会、㈱ルー 毎	ト・ワン 他多数	:		
第三者による	(令和4年度卒業生))オンデーズ、 等から第三者	新华価:	マイナック	、(株)三恵	、㈱モリ商会、㈱ルー	ト・ワン 他多数			
第三者による 学校評価	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関	オンデーズ、 特から第三者 以下について任意	新华価:)マイナック <u></u> 受審年月:	、(株)三恵		ト・ワン 他多数 評価結果を掲載した ホームページURL			
	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば	オンデーズ、 特から第三者 以下について任意	新华価:		、(株)三恵		評価結果を掲載した			
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば	オンデーズ、 1等から第三者 以下について任意 本:	新平価: 類記載		、(株)三恵		評価結果を掲載した			
学校評価 当該学科の	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団	オンデーズ、 書等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre	新平価: 類記載		、(株)三恵		評価結果を掲載した			
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 計等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定)	新平価: 類記載		· 、(株)三恵		評価結果を掲載した	2, 000 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(本) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 書等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定)	新平価: 類記載	受審年月:			評価結果を掲載した			
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(本) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 等数 うち企業等	新評価: 意記載 ative/index.html	受審年月: ・ 実技の授業 の			評価結果を掲載した	2, 000 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(本) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 等数 うち企業等	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習 と連携した演習の授業時 業時数	受審年月: ・ 実技の授業 明 ・ 教	持数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位	立時間 立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(本) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 等数 うち企業等 うち企業等	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習 と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	声数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位	立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(本) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 等数 うち企業等 うち必修授	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技 授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 等数 うち企業等 うち必修授	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習 と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技 授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 A、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的	オンデーズ、 等の 第三人 第三人 第三人 第二人 第二人 第二人 第二人 第二人 第二人 第二人 第二	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技 授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した実 写等の実施状況	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的	オンデーズ、 等から第三者 以下について任意 本: n/course/cre る算定) 特数 うち企業等 うち必修授 (うち企業	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時数 実習・実技 授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 は、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデーズ、 等からいて任意 本: m/course/cre る算定) 特数 うち企業等 うち必修授 (うち企業	新評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業 ・	時数 実習・実技 授業時数 業時数)	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位	立時間立時間立時間立時間立時間立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 A、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデーズ、 等に が (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す)	会評価: 類記載 ative/index.html と連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインターン	受審年月: ・実技の授業・ ・実技の実験・ 必修の演習の シシップの授業・	時数 実習・実技 授業時数 業時数)	#	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 A、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデーズ、 等について任意 本: n/course/cre る算 うち企業等 うち企業等 うち企業等	会評価: 記載 ative/index.html と連携した実験・実習を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した 会連携したインターン と連携した実験・実習をと連携した 等と連携した実験・実習をと連携した。	・実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 実技の授業 ・ ・ 実技の授業 ・ ・ 実技の授業 ・ ・ 実 も ・ き も ・ き も も も り も り も り も り も り も り も も も も も	時数 実習・実技 学時数) 特数	板の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 A、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデーズ、 等に が (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す)	会評価: 家記載 ative/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ ま時数	・実技の授業・ ・数 ・多数 ・変をを ・数 ・実技ので ・変をである。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできる。 ・変をできるできる。 ・変をできるできる。 ・変をできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	時数 実習・サ数 業時数) 等数 実習・実材	板の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 に な、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデース (本: n/course/cre を	会評価: 家記載 ative/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した大変の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ ま時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した さっち企業等と連携した	・実技ののののでは、	時数 実援 乗数 実数 実数 実数 実数 実数 実数 実数	板の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携 した況 は、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、例えば 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間によ 総授業的 (B:単位数による	オンデース (本: n/course/cre を	会評価: 家記載 ative/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ ま時数	・実技ののののでは、	時数 実援 乗数 実数 実数 実数 実数 実数 実数 実数	板の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 は、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の評価機関 ※有の場合、何利えば、 評価団 https://yfd-c.com (A:単位時間による 総授業的 の担 の担 の担	() ()	会評価: 家記載 ative/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した大変の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ ま時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した さっち企業等と連携した	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	時数・実技・数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実数・実	板の授業時数	評価結果を掲載したホームページURL	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 と、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の場合、 評価の場合、 評価の場合、 評価の場合、 評価の場合、 評価の場合、 評価をおいます。 は、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	() ()	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実験・実業等と連携した。 ちな業等と連携した。 を連携した実験・実習の授業的は、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	時数 実授業 等数 実数 等数 ・ 時数 ・ 実数 ・ 実数 ・ のののでは、 ・ ののでは、 ・ ののでは	板の授業時数	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位 440 単位 0 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	立時間	
学校評価 当該学科の ホーム URL ・ と連携 を実施ず A、記入)	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の場合、 評価の場合、 評価の場合、 評価 機関 ※有の場合、 評価 を 1 担業なる で による で は 1 担業なる で による で による で で による で で による で で による で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	() ()	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実験・の授業・と連携した。 うち企業等とと連携した。 等と連携したっこ と連携した演習の授業・と連携した。 うち企業等とはなっこ と連携したっこ と連携したっこ と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等とを修者がある。 等とを修者がある。 等とを修者がある。 まずる。 まずる。	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	時数 字	をの授業時数をの授業時数を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 单位 1 单	立時間	
学校評価 当該学科のホーリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の高、 部間場合、 部間には 1 担業なる 第1 日間には 1 担業なる 第1 日間には 1 担業なる 第1 日間には 2 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 4 日間には 5 日間には 6 日間には 7 日間には 7 日間には 8 日間に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 	第下	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実際のの授業等と連携したううち企業等と連携した。 までは、大変では、大変である企業をできませます。 と連携したないで、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	時数実授業時数実授時数等数等数等数等数等数等((專 個)	をの授業時数をの授業時数を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 单位 0 单位 2 人 2 人	立時間	
学校評価 当該学科のホーリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ■ 民間の高、 部間場合、 部間には 1 担業なる 第1 日間には 1 担業なる 第1 日間には 1 担業なる 第1 日間には 2 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 3 日間には 4 日間には 5 日間には 6 日間には 7 日間には 7 日間には 8 日間に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 8 日に 	第 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実際のの授業等と連携したううち企業等と連携した。 までは、大変では、大変である企業をできませます。 と連携したないで、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	持実授業持実授時数等等数等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等<	無 をの授業時数 をの授業時数 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2,000 单位 440 单位 0 单位 0 单位 0 单位 0 单位 0 单位 0	立時間	
学校評価 当該学科のホーリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリ	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	第 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実際のの授業等と連携したううち企業等と連携した。 までは、大変では、大変である企業をできませます。 と連携したないで、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	持実授業持実授時数等等数等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等<	無 をの授業時数 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 单位		
学校評価 当該学科の ホームVRL とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう とのました況かい は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) (株)ダブルエー、(株) (株)ダブルエー、(株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	第 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した実際のの授業等と連携したううち企業等と連携した。 までは、大変では、大変である企業をできませます。 と連携したないで、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	・ 等数 必必シー・ 等数 必必シー・ 等数 のののプロののののののののののののののののののののののののののののののののの	持実授業持実授時数等等数等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等<	無 をの授業時数 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 单位 中位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 A、Bいずれかに	(令和4年度卒業生) (株)ダブルエー、(株) 1	第	会評価: 会記載 ative/index.html と連携した演習の授業等と連携した演習の受験・実際の受験・を連携した。 等と連携した実験・実習を連携した。 を連携した演習の授業等とはない。 を連携したなった。 等と連携したなった。 等と連携したので表別であるとをできます。 なる者のであるとををある。 のは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	受審大大大大大大上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上<	時実授業特実授時数習業数す時)中條條條すり中條條條	無 をの授業時数 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	2,000 単位 440 単位 2,000 単位 440 単位 单位 中位		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務課のもとに、委員会を設置する。(学校法人桜井学園組織図参照)

授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行う際に、企業及び業界団体から業界の現状、必要とされる知識、技能を聞き 出し、校長及び担当教員が適切な授業内容を検討し、意思決定を行う。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	1
金原 正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
遠藤 至彦	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
櫻井 則子	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
中川 香奈	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
真壁 瞳	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年11月10日 15:00~17:00 第2回 令和5年 3月16日 15:00~17:00 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

近年、SDGsを推進する企業、学校等団体が増えていることを受け、SDGsのための身近な取り組みを授業に組み入れられないかとの意見から、その一環として、古着のリメイクを組み入れた。家から着られなくなった衣服を持参し、それらをまた着られるものにするためのアイデアやデザインのスキルアップを養いつつ、縫製技術の向上にもつなげたい。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容を事前に調整し、スカーフと取り入れた作品制作を通じて、素材(シルク)の特性や柄・形状を活かしたデザインを 学ぶシルクの縫製上の取り扱いを学ぶ。制作した作品のプレゼンテーションを学ぶこととした。

週1回3時間 終了時にプレゼンテーションを行い、企業講師が評価基準(作品から習得度を3段階で評価および出席率70%以上)に沿って評価し、校長が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
服飾造形Ⅱ	ショーに参加するため、企業よりスカーフの柄と形を活か	横浜シルクミュージアムショップア ソシエイション 本川 久幸

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

教職員研修規定に基づき、様々な教育課題に対応し、学生にとってよりよい教育を進めるために、教師の指導力の向上を図るための研修を計画し実施する。また、外部の研修へも積極的に受講するよう促す。業界団体および企業等の職員の指導が直接受けられる機会を設け、常に業界の現状に即した内容を効果的な方法で指導できるように能力及び資質の向上を図ることとする。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: CLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

対象: ファッションクリエイティブ科 期間: 令和4年6月3日(金)

CLOのプログラムがアパレル業界でどの様に活用されているかとデモンストレーションによってパターンを平

面から三次元にする方法を学んだ。基本課題の平面パターンを三次元でシュミレーションし、画面上で平面の 内容

パターンがどの様に三次元で表現されるかについて理解を深め、指導に活かした。

②指導力の修得・向上のための研修等

海外におけるアパレル企業の販売事情 連携企業等: 佐々木 綾 研修名:

対象: 常任講師 期間: 令和4年8月1日(月)

アメリカのトレンドアイテムやアメリカのアパレル企業の販売方法について学んだ。アメリカではSNSを活用 した販売方法が主流となっており、今後日本の販売方法もアメリカの様になっていくことを理解し、指導方法 内容

に活かした。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 最新のCLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

対象:ファッションクリエイティブ科 期間: 令和5年11月10日(金)

バージョンアップした最新のCLOの操作方法を知り、学生のデザイン制作の指導に活かす。 内容 ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「働くことについて考える| 連携企業等: 株式会社プロセスユニーク

対象: 常勤講師 期間: 令和6年2月5日(月)

働く際のルールについて知り、長時間労働や過労死などの労働問題に関して理解を深め、学生指導に活かす。 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。|関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

①学校関係者評価委員が学校評価を行い、その結果を広く公表し、透明性の高い評価にすること。

②学校関係者評価委員会を開き、評価結果をもとに、学校運営や教育活動に反映させること。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	教育理念等を明確に示されているか。 教育目標は定期的に見直されているか。 教育理念などが教職員・学生に浸透しているか。 教育理念などを公表しているか。
(2)学校運営	理事会が定期的に開催されているか。 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	カリキュラムには教育目標が反映されているか。 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 目標に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確係しているか。 非常勤講師との情報の共有を図っているか。
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか。 資格取得率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用され ているか。
(5)学生支援	学生相談に関する体制は整備されているか。 進路・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 学生の健康診断を実施しているか。 保護者と適切に連携しているか。 卒業生への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 防犯・防犯訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。
(6)教育環境	教室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 教育用機械や備品は整備され、活用されているか。図書室は適切に整備されているか。 保健室は適切に整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 入学選抜の時期、方針、方法は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務について会計監査が適切に行わているか。
(9)法令等の遵守	法令や専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しているか。
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流 ((10)及び(11)については任意記載。	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学習成果:インターンシップの機会があったら是非参加させてほしいとの意見がある中、インターンシップではないが学生服の採寸や歌手のコンサートの裏方のアルバイトの依頼があり、一部の学生が参加した。関連分野での経験を得ることが出来る機会となった。

学生支援:高等教育の修学支援新制度の対象機関(確認校)として認定を受けていることにより、引き続き、給付奨学生への 学費負担軽減の支援をする。また、専門実践教育訓練給付の講座指定の認定を受けていることにより、受給資格のある夜間部 の社会人へ利用を勧めることとする。

学生の受入れ募集:AO入試エントリー受付期間終了後の特典のない出願希望者に対して、特別エントリーとして扱い、検定料 を減免した。また、経済的に不安のある入学希望者へ奨学金や学費分割払いについて積極的に説明を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名 前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	業界団体等
金原 正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
遠藤 至彦	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①教育活動及び学校運営の状況に関する情報を積極的に公表し、関係団体及び企業との連携を密接なものとする。
- ②教育活動及び学校運営の状況に関する情報を公表し、学校と家庭・地域社会が連携して行う教育を推進する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	目標 経営方針 校長名 所在地 連絡先 沿革
(2)各学科等の教育	定員 資格取得
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等への取り組み状況 就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	奨学金制度 教育ローン 提携寮
(7)学生納付金・修学支援	納付金
(8)学校の財務	貸借対照表 資金収支計算書
(9)学校評価	学校評価表
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ 入学要件 卒業後の進路
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

IJRI: https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

授業科目等の概要

	(用	设飾	* 家	政専門課程ファ	ッションクリエイティブ科)令和4年度										41.5		
	:	分類				#I	+∞		授	受業ス		場	所	教	員	^	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携	
1	0			ファッション デザイン I	基礎知識とデザイン表現による社会貢献。 創造性を豊かにする。	1通	100		0			0			0		
2	0			テキスタイル	服の元となる生地について、基本知識を習得する。素材感の違いを演習で形にすることで理解する。		40		0			0			0		
3	0			ファッション スタイリング	体系や顔かたちを研究し、似合うファッション を知ることで、洋服から小物、ヘアスタイルに 至るまでスタイリングの基礎知識を学ぶ。	1通	40		0			0			0		
4	0			スタイル画I	基本8頭身のプロポーションの人体の描き方を習得し、服のディテールや素材感を表現する技術を身に付ける。		60		4		0	0			0		
5	0				鉛筆デッサンの基本となるグラデーションスケールの書き方から始まり、生物デッサン、石膏デザインなどを描くことでデッサンの技術を習得する。実物を描くことで立体感と空間に意識を向けさせる。人体の骨格と立体感を覚えさせる。	1通	40				0	0		0			
6	0			パターンメー キング理論 I	基本的なアイテムのパターンメーキングの基礎 知識を習得する。	1通	70		0		Δ	0			0		
7	0			パターンメー キング造形 I	理論 I で修得した知識をもとに基本的なアイテムの製図の技術を習得する。	1通	100		Δ		0	0			0		
8	0				CAD (Computer Aided Desing)基礎操作を学び、 スカートやブラウスの展開などを実習する。	1通	30		Δ		0	0		0			
9	0			縫製基礎実習 I	服飾造形において必要となる手縫い、ミシン縫 いの基礎について学び、デティールの部分縫い を製作する。		80		Δ		0	0		0			
10	0			服飾造形 I	繊維・糸・生地の知識、柄の名称、アイテムの名称、服飾の歴史などファッション関連の基礎について広く学び、実習ではタイトスカート・ブラウス・ワンピース・パンツ・ジャケットの 縫製技術について学ぶ。	1通	300		Δ		0	0			0		
11	0			色彩学 I	AFT色彩検定のテキストを使用し、色彩の基礎を 学び、検定試験3級の資格取得を目指す。配色の 応用をファッション・インテリアで考えること を学ぶ。	1通	40		0		Δ	0			0		
12	0			ファッション ビジネス I	ファッション業界の様々な分野・職種の基礎知 識を学び、ファッションビジネス能力検定3級の 資格取得を目指す。		30		0			0			0		
13	0			英語 I	実社会で使える英語を意識して、基礎から学 ぶ。	1通	40		0			0			0		
14	0			ビ ジ ネ ス マ ナー	社会人に必要な基礎技能や資質を学び、秘書技 能検定試験2級の資格取得を目指す。	1通	30		0			0			0		
15	0			ファッション デザインⅡ	年間を通して制作する作品のデザインを考える。アパレルデザインの基礎をリサーチしなが ら修得する。		120		Δ		0	0			0		
16	0			スタイル画Ⅱ	1年次に学んだ基礎を元にファッションイラストの表現力を身に付ける。社会で使えるテキスタイルの基礎知識を学ぶ。		40				0	0			0		
17	0			クロッキー	人物クロッキーを通して人体の骨格やプロポーションを理解し、一般的な人体のバランスが見 えなくても描ける技術を身に付ける。		40				0	0		0			
18	0			パターンメー キング理論 II	パターンメーキングの基礎知識を習得し、ハンガーイラストを見てパターンを作図し、トワルを組む技術を習得させる。パターンメーキング技術検定3級の資格取得を目指す。	2通	80		0		Δ	0			0		
19	0			パターンメー キング造形 II	1年次の基礎的な知識を応用し、高度なアイテム のパターンメーキングに取り組み、技術の向上 を目指す。		120				0	0			0		
20	0			パターンメー キングCADⅡ	基礎をふまえ、さらに発展したパターンおよび グレーディングの操作技術を習得する。	2通	40				0	0		0			

21	0		服飾造形Ⅱ	取り扱いの難しい素材の繊維・糸・生地の知識を習得し、その特性を活かしたデザイン発想のセオリーと手順について学び、各自の課題のデザインをする。	2通	440	Δ	0	0			0	0
22	0		ドレーピング	立体裁断の基礎知識を習得し、実践で技術を身に付ける。	2通	40	4	0	0			0	
23	0		色彩学Ⅱ	色彩学 I で学んだ色彩の基礎知識に加えて、色彩科学や配色技法などの専門知識を習得し、AFT 色彩検定2級の資格取得を目指す。パーソナルカラーの知識・技術を身に付ける。		40	0	Δ	0			0	
24	0		英語Ⅱ	実社会で使える英語を意識して、応用から学 ぶ。	2通	40	0		0			0	
25													
		合	<u></u>	24		科目		2000	単	位	(単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	-
卒業要件: 生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験による認定を行い、所定 の全教育課程を修了したと認められるとき	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 通学	1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

横浜ファッシ	ョン	昭和51年8月1						
デザイン専門		四州31十0月1	6日 校長	櫻井則子 (住所) (電話)	230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 045-501-5460	1-9-5		
設置者名	J 1/	設立認可年月	日代表	長者名 〒	230-0051	所在地		
学校法人 桜井	学園	平成20年4月	1日 理事長	櫻井武美 (住所) (電話)	横浜市鶴見区鶴見中央: 045-501-5460	1-9-5		
分野		認定課程名	認定学科名		厚門士認定年度	高度専門士認定な	F度 職業実践 「職業実践 「職業実践 「」	厚門課程認定年度
服飾・家政	服飾	・家政専門課程	ファッションビシ	ジネス科 半成/年]	文部科学省 告	_	平成2	26年4月1日
学科の目的	販売職(スタ	タイリスト・ブライダル	 レ、雑貨等を含む)に京	 忧くために必要な専門知	 識と技術を習得すると共に	、関連資格試験の取得 ²	 を目指し、アパレル企業7	が必要とする人材を
	■取得可能 <i>が</i>	な資格:ファッション則	- 京売能力検定、ファッシ	/ョンビジネス能力検定	、リテールマーケティング	検定、商品装飾展示技能	能士、色彩検定、秘書技能	能検定、アシスタ
² 科の特徴(取得可 能な資格、中退率	トウエディン		フォーマルスペシャリフ	ストブロンズライセンス	、繊維製品品質管理士			
等)	■中途退学者 ■中退率: 1							
		全課程の修了に必要な	総授業時数又は総単位					
修業年限 	昼夜		数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれか に記入	2,000 単位時間 単位	1,490 単位時間 単位	り 単位時間 単位	510 単位時間 単位	単位	0 単位時間 単位
	生徒実			留学生割合(B/A)	半世	半世	丰四	
					-			
140 人	52 <i>·</i> ■卒業者数	(C)	0 人	人 0 %				
	■就職希望 ■就職者数	君数(D) z(E)	27 20	人 人	_			
	■地元就職 ■ 就職率 (E	战者数 (F)	0 74	<u> </u>				
		ニーク に占める地元就職者の割った。		%	_			
	■卒業者に	占める就職者の割合(E/		%				
	■進学者数 ■その他	ζ	0	人 人	_			
就職等の状況								
	(令和	4年度卒業者に	こ関する令和4年5月1	日時点の情報)				
	■主な就職	先、業界等						
		5業生)						
	(令和4年度卒		<i>₩</i> = ,, , , , ,		-	1 2 1 1 (14) 0	0 - (+)	1 1 /1 /2 4/
			<i>、</i> グ、ラルフローレン	, (同) 、㈱ノーリー:	ズ、㈱ストライプインタ‐	ーナショナル、㈱パノ	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
			ッグ、ラルフローレン	(同)、㈱ノーリー	ズ、㈱ストライプインタ-	ーナショナル、㈱パハ	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
第三者による	(株)TSIホーノ ■ 民間の評	ルディングス、㈱イン	評価:	(同)、㈱ノーリー	ズ、㈱ストライプインタ‐ <u>無</u>	ーナショナル、㈱パノ	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
第三者による 学校評価	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、	ルディングス、(株)イン 平価機関等から第三者 例えば以下について任意	評価:			評価結果を掲載した	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
学校評価	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、	ルディングス、㈱イン	評価:	, (同)、(㈱ノーリー) 受審年月:			ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、	ルディングス、(株)イン 平価機関等から第三者 例えば以下について任意	評価:			評価結果を掲載した	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、	ルディングス、(株)イン 平価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体:	評価:			評価結果を掲載した	ペス、(有)ハートマー	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	評価:			評価結果を掲載した		-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 特間による算定) 総授業時数	評価: 記載 ss/index.html	受審年月:		評価結果を掲載した	2,000 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (イ) (水) (ボーングス、(株) (イ) (水) (ボーンで) (ボーンで) (ボーン・で) (ボーン・	評価: 記載 ss/index.html	受審年月: ・ 実技の授業時数		評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (イ) (水) (ボーングス、(株) (イ) (水) (ボーンで) (ボーンで) (ボーン・で) (ボーン・	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習 と連携した演習の授業時	受審年月: ・ 実技の授業時数		評価結果を掲載した	2,000 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (イ) (株) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木) (木	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を と連携した演習の授業時 業時数	受審年月: ・ 実技の授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 一の機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 特間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修授	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を と連携した演習の授業時 業時数	受審年月: ・実技の授業時数 寺数 必修の実験・実習・実技	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 一体機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine ・時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況に (A、Bいずれかに	(株)TSIホー/ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ア 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL ** と連携した実 習等の実施状況	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 一体機関等から第三者 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine ・時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を と連携した演習の授業時 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 必修の実験・実習・実技 必修の演習の授業時数 ンシップの授業時数)	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 ・必修の実験・実習・実技 必修の演習の授業時数 ・シップの授業時数 ・実技の授業時数	#	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と実際の実施状況に (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三任意 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインターン	・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・数 ・必修の演習の授業時数 ・シップの授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数	無の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間	-ケット 他多w
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した完 であま施状況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三任意 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 ・必修の実験・実習・実技 ・必修の演習の授業時数 ・シップの授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数	無の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	-ケット 他多数 -ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三名第 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した方の受業・ と連携した方の授業・ と連携した方のでである。	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 ・必修の実験・実習・実技 ・必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数	無の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三名第 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 ・必修の実験・実習・実技 ・必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数	無の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーノ ■ 民間の評 ※有の場合、 https://yfd-	ルディングス、(株)イン 不価機関等から第三名第 例えば以下について任意 評価団体: -c.com/course/busine 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載 ss/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した きと連携したインターン と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した方の受業・ と連携した方の授業・ と連携した方のでである。	受審年月: ・実技の授業時数 ・教 ・必修の実験・実習・実技 ・必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数	無の授業時数	評価結果を掲載した	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホー/ ■ RI間の湯 ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 (B:単位類	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	平価: 記載 Ses/index.html と連携した実験・実習を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した演習の授業時 と連携した演習の授業時 と連携した演習の授業時 と連携した演習の授業時 と連携した演習の授業時 と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を必ず、 を必ず、 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを連携した。 をを必ず、 ををできる。 ををできる。 ををできる。 ををできる。 ををできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。	受審年月: ・実技の授業時数・・実技の実験・実習・実技の授業時数 ・必修の演習の授業時数) ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・においてその	の授業時数	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホー/ ■ R.間の部 ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 (B:単位間	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	平価: 記載 Ses/index.html と連携した実験・実習・ と連携した演習の授業・ うち企業等と連携した うち企業等と連携した。 等と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した演習の授業・ と連携した方ので要素を連携した。 まままなのでであって、 等と連携した。 ここを変更のであって、 なるのであって、 等と連携した。 であって、 等と連携した。 であって、 等と連携した。 であって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等とを変更があって、 等を変更があった。 等を変更があった。 等を変更があって、 等を変更があった。 等を変更がある。 等を変更がある。 等を変更がある。 等を変更がある。 等を変更がある。 等を変更がある。 等を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	受審年月: ・実技の授業時数・実習・実技のの実験・実習・実技の授業時数・シップの授業時数・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・変化の対象をある。	無の授業時数	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホー/ ■ R.間の部 ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 (B:単位間	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	評価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 うち企業等と連携した き連携した演習の授業的 うち企業等と連携した と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 と連携した。 でまきもので表した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 をで、 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等とした。 等とした。 をで、 等とした。 をで、 等と連携を をで、 等とした。 をで、 等とした。 をで、 等とした。 をで、 等とした。 をで、 をで、 等に をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、	受審年月: ・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・実技の授業時数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	無の授業時数 の授業時数 の授業時数 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載したホームページURL	2,000 単位時間 40 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 单位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホー/ ■ R.間の部 ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 (B:単位間	ルディングス、(株)イン (本)	評価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業 b	受審年月: ・実技の授業時数 ・実技の実験・実習・実技の受験・実践のの演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実対の対験・実習・実技の対験・実際の対験・実際の対象 ・実技の対験・実際の対象 ・実技の対象・実際の対象・実対の対象・においてそのはいには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	無の授業時数 の授業時数 の授業時数 を学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位時間 40 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 单位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科のホージ URL と連携施ず と連携をでいい	(株)TSIホーク ■ R.間の字、 A:単位間 (B:単位間 (B:単位間)	ルディングス、(株)イン (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	平価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 を連携した。 等と連携した。 等と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 をででもからな。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでもいる。 ででものとをでものとをでもいる。 ででものとをでものとをでものとをでものとをでものとをでものとをでものとをでものと	受審年月: ・実技の授業時数・実数・少修の演習の授業時数・実技の授業時数・実技の授業時数・実技の授業時数・実数の実験・実習・実数・必修の演習の授業時数・よの対策をある。 ・実技の授業時数・実際のででである。 ・実技のででである。 ・実技のでは、できてである。 ・では、できている。 ・では、できないる。 ・では、できないるいる。 ・では、できないるいる。 ・では、できないるいるでは、できないるいるでは、できないるいるでは、できないるいるでは、できないるではないるではないるではないるではないるではないるではないるではないるでは	無(の授業時数) (の授業時数) (の授業時期を持定的対象) (の授業時数)	評価結果を掲載した ホームページURL	2,000 単位時間 40 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 单位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科のホージ URL と連携施ず と連携をでいい	(株)TSIホーク ■ RE間の ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルディングス、(株)イン 「無機関等からのいでのは 等下についてのは 等では による 第一般授業 時数 「うち企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業を表する。 ()	平価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 を連携した。 等と連携した。 等と連携した。 と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 をでで、 でで、 でで、 ののと でで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと ののと ののと ののと ののと ののと のの	受審年月: ・実技の授業時数・実習・実技のの演習の授業時数・実践の授業時数・実技の授業時数・実数・変をの変習の授業時数・の変別の授業時数・の変別の授業時数・のでである。 ・実技のでは、実技のでは、できないでであり、では、できないでであり、では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	無 の授業時数 の授業時数 学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	2,000 単位時間 40 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 人 单位 中位 人 中位 中位 人 中位 中位 人 中位 上 中位 上 中位 上 中位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科のホージ URL と連携施ず と連携をでいい	(株)TSIホーク ■ RE間の ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルディングス、(株)イン (株)イン (株) (本) (株) (本) (株) (本) (株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	平価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 を連携した。 等と連携した。 等と連携した。 と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 をでで、 でで、 でで、 ののと でで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと ののと ののと ののと ののと ののと のの	受審年月: ・実技の授業時数・実習・実技のの演習の授業時数・実践の授業時数・実技の授業時数・実数・変をの変習の授業時数・の変別の授業時数・の変別の授業時数・のでである。 ・実技のでは、実技のでは、できないでであり、では、できないでであり、では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	無(の授業時数) (の授業時数) (の授業時期を持定的対象) (の授業時数)	評価結果を掲載した ホームページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 单位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した完 であま施状況 (A、Bいずれかに	(株)TSIホーク ■ RE間の ※有の場合、 https://yfd- (A:単位間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルディングス、(株)イン 「無機関等からのいでのは 等下についてのは 等では による 第一般授業 時数 「うち企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業等 うちな企業を表する。 ()	平価: 記載 ss/index.html と連携した演習の授業的 と連携した演習の授業的 を連携した。 等と連携した。 等と連携した。 と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 をでで、 でで、 でで、 ののと でで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと をで、 ののと ののと ののと ののと ののと ののと ののと のの	受審年月: ・実技の授業時数・実習・実技のの演習の授業時数・実践の授業時数・実技の授業時数・実数・変をの変習の授業時数・の変別の授業時数・の変別の授業時数・のでである。 ・実技のでは、実技のでは、できないでであり、では、できないでであり、では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	無 の授業時数 の授業時数 学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	2,000 単位時間 40 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 人 单位 中位 人 中位 中位 人 中位 中位 人 中位 上 中位 上 中位 上 中位	-ケット 他多数
学校評価 当該学科のホージ URL と連携施ず と連携施ず に る は は は は は は は は は は は は は は は は は は	(株)TSIホーク I R. IIIの I R. IIIの I A : 単位 I F. IIIの I F. III F. IIIの I F. III F.	ルディングス、(株) イン (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	評価: ss/index.html と連携した演習の授業時 を連携した演習の授業時 うち企業等とインターン と連携したに演習の授業時 と連携したた演習の授業時 と連携したた演習の授業時 と連携したた演習の授業時 とを連携したた演習の授業時 をを連携した。 なきまりた。である。 なりまりた。では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: ・実技の授業時数・実習・実数・必修の演習の授業時数・実践の授業時数・実践の実験・実践の受験・実践の受験・実践の受験・実践の変別の対象に専門のでは、では、事ができる。	無 の授業時数 の授業時数 学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第 等学校設置基準第41条第1項第	評価結果を掲載した ホームページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 2,000 単位時間 40 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 单位	-ケット 他多数

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育 を進める。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務課のもとに、委員会を設置する。(学校法人桜井学園組織図参照)

授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行う際に、企業及び業界団体から業界の現状、必要とされる知識、技能を聞き出し、校 長及び担当教員が適切な授業内容を検討し、意思決定を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	1
金原 正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
遠藤 至彦	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
櫻井 則子	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
中川 香奈	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
真壁 瞳	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年11月10日 15:00~17:00 第2回 令和5年 3月16日 15:00~17:00 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

情報化社会のただ中、アパレル企業でもSNSの活用が不可欠であるため、即戦力としての技能を身に付けてほしいとの意見があり、プロのSNSディレクターからファッション業界で求めらる情報提供のスキルを学ぶ授業を組み込むこととした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育 を進める。

豊かな人間性の育成:社会で必要となるコミュニケーション能力、創造力を育むため、企業等の意見をもとに授業内容の充実を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容を事前に調整し、アパレル企業が必要とする人材を育成する上で販売員に必要なマナー・接客技術を実習(ロールプレイング)を通して身に付けることとした。

月1回2時間 終了時にレポート提出、企業講師が評価基準(レポートの内容から習得度を3段階で評価および出席率70%以上)に 沿って評価し、校長が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(0) 共中国为农建历900万	THE WE TO CIGITATING THE CONTROL TO	
科目名	科 目 概 要	連携企業等
販売技術	ファッション販売員としての必要な基礎知識をもとに、販売技術をロールプレイングを通して習得する。また、現役販売員から販売員としてのマナーや知識を習得し、よりスキルアップする。終了時にレポートを提出、評価基準に沿って企業等の講師が評価を行い、校長が単位認定を行う。	糸福商事有限会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

教職員研修規定に基づき、様々な教育課題に対応し、学生にとってよりよい教育を進めるために、教師の指導力の向上を図るための研修を計画し実施する。また、外部の研修へも積極的に受講するよう促す。業界団体および企業等の職員の指導が直接受けられる機会を設け、常に業界の現状に即した内容を効果的な方法で指導できるように能力及び資質の向上を図ることとする。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: CLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

期間: 令和4年6月3日(金) ファッションクリエイティブ科 期間: 令和4年6月3日(金) 対象: ______

常任講師

CLOのプログラムがアパレル業界でどの様に活用されているかとデモンストレーションによってパターンを平面から

内容 三次元にする方法を学んだ。基本課題の平面パターンを三次元でシュミレーションし、画面上で平面のパターンがど

の様に三次元で表現されるかについて理解を深め、指導に活かした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 海外におけるアパレル企業の販売事情 連携企業等: 佐々木 綾

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: 常任講師

アメリカのトレンドアイテムやアメリカのアパレル企業の販売方法について学んだ。アメリカではSNSを活用した販内容

売方法が主流となっており、今後日本の販売方法もアメリカの様になっていくことを理解し、指導方法に活かした。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 最新のCLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

内容バージョンアップした最新のCLOの操作方法を知り、学生のデザイン制作の指導に活かす。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「働くことについて考える」 連携企業等: 株式会社プロセスユニーク

期間: 令和6年2月5日(月) 対象: 常勤講師

内容 働く際のルールについて知り、長時間労働や過労死などの労働問題に関して理解を深め、学生指導に活かす。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。 | 関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

①学校関係者評価委員が学校評価を行い、その結果を広く公表し、透明性の高い評価にすること。

②学校関係者評価委員会を開き、評価結果をもとに、学校運営や教育活動に反映させること。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	教育理念等を明確に示されているか。 教育目標は定期的に見直されているか。 教育理念などが教職員・学生に浸透しているか。 教育理念などを公表しているか。
(2)学校運営	理事会が定期的に開催されているか。 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	カリキュラムには教育目標が反映されているか。 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見し等が行われているか。 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 目標に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 事情がある。
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか。 資格取得率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。
(5)学生支援	学生相談に関する体制は整備されているか。 進路・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 学生の健康診断を実施しているか。 保護者と適切に連携しているか。 年
(6)教育環境	教室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 教育用機械や備品は整備され、活用されているか。図書室は適切に整備されているか。 保健室は適切に整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 入学選抜の時期、方針、方法は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務について会計監査が適切に行わているか。
(9)法令等の遵守	法令や専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しているか。
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学習成果:インターンシップの機会があったら是非参加させてほしいとの意見がある中、インターンシップではないが学生服の採寸や歌手のコンサートの裏方のアルバイトの依頼があり、一部の学生が参加した。関連分野での経験を得ることが出来る機会となった。

学生支援:高等教育の修学支援新制度の対象機関(確認校)として認定を受けていることにより、引き続き、給付奨学生への学費負担 軽減の支援をする。また、専門実践教育訓練給付の講座指定の認定を受けていることにより、受給資格のある夜間部の社会人へ利用を 勧めることとする。

学生の受入れ募集:AO入試エントリー受付期間終了後の特典のない出願希望者に対して、特別エントリーとして扱い、検定料を減免した。また、経済的に不安のある入学希望者へ奨学金や学費分割払いについて積極的に説明を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名 前	所属	任期	種別
松村 俊幸	楼冷继维挂朗人	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	業界団体等
金原 正和	**************************************	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
遠藤 至彦	株式会社供 雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
野村 克己	火与女主ナ 四人も	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

))

- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①教育活動及び学校運営の状況に関する情報を積極的に公表し、関係団体及び企業との連携を密接なものとする。
- ②教育活動及び学校運営の状況に関する情報を公表し、学校と家庭・地域社会が連携して行う教育を推進する。
- (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	目標 経営方針 校長名 所在地 連絡先 沿革
(2) 各学科等の教育	定員 資格取得
(3)教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等への取り組み状況 就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	奨学金制度 教育ローン 提携寮
(7)学生納付金・修学支援	納付金
(8)学校の財務	貸借対照表 資金収支計算書
(9)学校評価	学校評価表
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ 入学要件 卒業後の進路
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (服飾・家政専門課程ファッションビジネス科)令和4年度															
		分類		以守门味性ノア	ッションにジャス件)で和4年度				挖	受業ス	 方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
1	0			ファッション ビジネス I	ファッションのビジネス、マーケティング、マーチャンダイジングなどの基礎知識を学び、ファッションビジネス能力検定の「ファッションビジネス知識」を中心とした授業。ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指す。	1通	100		0			0			0	
2	0			テキスタイル I	服の元となる生地について、基本知識を習得する。素材感の違いを演習で形にすることで理解 する。		60		0			0			0	
3				商品知識 I	ファッションデザイン、コーディネート、素材、サイズなどの基本的な知識を学ぶ。ファッションビジネス能力検定の「ファッション造形知識」を中心とした授業。	1通	60		0			0			0	
4	0			スタイリスト	スタイリストの仕事を雑誌編集を通してその役 割を知る。	1通	40		Δ		0	0		0		
5	0			服装史	衣服の歴史から現代のファッションに至るまで の流れを学び、衣服の役割、社会変化による ファッションの変化を理解し、ファッションの 知識を深める。	1 '35	40		0			0			0	
6	0			ブライダル	ブライダル業界全般、ブライダルビジネスの基 礎を習得する。		40		0			0			0	
7	0			ファッション 販売 理論 I	ファッション販売の基本となる販売知識、販売技術、商品知識、売り場作り、マーケティング、販売スタッフの業務について習得し、ファッション販売3級の資格取得を目指す。	1通	80		0			0			0	
8	0			ファッション 販売 実習 I	コミュニケーションカ、協調性、主体性など、 ワークを通して体感して学ぶ。所作や言葉遣 い、商品の取り扱いなど販売の基礎を講義と ロールプレイングを通して学ぶ。	1通	80		0		Δ	0			0	0
9	0			リテールマー ケティング2級	仕入れから在庫管理やマーケティング、労働・経営管理の基礎をより専門的に学ぶ。売場の管理者クラスのレベルで、店舗管理に不可欠な従業員の育成や指導、仕入れや在庫管理といった知識を習得し、販売士2級の資格取得を目指す。	1通	120		0			0			0	
10	0			マーチャンダ イジング	ファッションビジネスに於ける社会貢献。店舗 運営、商品企画の研究。	1通	80		0			0			0	
11	0				マーケティングの基礎を身に付けると共に、アパレルリテールのケーススタディーを交えて、 適切なファッションマーケティングを学ぶこと を目標とする。	1通	60		0		0	0		0		
12	0			0A実習	パソコンの仕組みやインターネットの概要、セキュリティーの知識を習得すると共に、ビジネスアプリケーション(Word)の操作技術を習得する。		60		Δ		0	0			0	
13	0			色彩学 I	AFT色彩検定のテキストを使用し、色彩の基礎を 学び、検定試験3級の資格取得を目指す。配色の 応用をファッション・インテリアで考えること を学ぶ。	1通	60		0		Δ	0			0	
14	0			英語 I	実社会で使える英語を意識して、基礎から学ぶ。	1通	40		0			0			0	
15	0			ビジネスマ ナー I	社会人に必要な基礎技能や資質を学び、秘書技 能検定試験2級の資格取得を目指す。	1通	80		0			0			0	
16	0			ファッション ビジネスⅡ	ファッション業界知識、流通戦略、マーケティング技法等を学び、ファッションビジネス能力検定試験2級の資格取得を目指す。	2通	80		0			0			0	
17	0			テキスタイル Ⅱ	現場で必要とされる人材としての知識を資料作りをしながら正しい商品知識、品質管理について修得する。	1通	40		0			0			0	
18	0			商品知識Ⅱ	アパレル販売に必要な素材、副素材、商品説明、ファッション雑貨などの知識を習得する。ファッションビジネス検定2級の資格取得を目指す。	の温	80		0			0		0		
19	0			ファッション 販売 理論Ⅱ	ファッション販売のプロフェッショナルとして 必要な販売知識、販売技術、商品知識、売り場 作り、マーケティング、店舗運営管理について 習得し、ファッション販売3級の資格取得を目指 す。	1通	100		0			0			0	
20	0			宇 中羽 π	接客販売の基本とテクニックを講義とロールプレイングを通して学ぶ。ファッション業界で活躍するために必要な基本を身に付ける。	2通	80		0		Δ	0			0	
21	0			リテールマー ケティング2級	仕入れから在庫管理やマーケティング、労働・経営管理の基礎をより専門的に学ぶ。売場の管理者クラスのレベルで、店舗管理に不可欠な従業員の育成や指導、仕入れや在庫管理といった知識を習得し、販売士2級の資格取得を目指す。	1通	80		0			0		0		

			Т			ı		, , ,		-		1		1		
22	0			ディスプレイ	実際の店舗商品を想定し、その演出方法、構成 の基本および展開方法を習得する。	2通	80		Δ		0	0		0		
23	0			マーケティン グリサーチ I Ⅱ	過去のファッションの歴史を知ることで、今を 分析する力を習得する。	2通	60		0			0			0	
24	0			0A実習 II	ビジネスアプリケーション(Excel)の操作技術 を習得する。	2通	80		Δ							
25	0			4. 似 出 T	色彩学 I で学んだ色彩の基礎知識に加えて、色彩科学や配色技法などの専門知識を習得し、AFI 色彩検定2級の資格取得を目指す。パーソナルカラーの知識・技術を身に付ける。	- o × =	40		0		Δ	0			0	
26	0			英語Ⅱ	実社会で使える英語を意識して、応用から学 ぶ。	2通	40		0			0		0		
27	0			C ン ホ ス ヾ +-π	社会人に必要な基礎マナーや仕事をする際の心 得や基本姿勢を学ぶ。秘書技能検定試験2級の資 格取得を目指す。		40		0			0			0	
28	0				ひとつのテーマをグループで話し合うことで主 体性、コミュニケーション能力、アイデアを養 う。		80		Δ		0	0			0	
29		0		ネット(カメ ラ)ワーク	カメラの基本技術を実際に撮影しながら習得する。	2通	40		Δ		0	0	0	0		
30		0			基本的なメイクアップの仕方を基礎から学び、 自分に似合う色やTPOに合わせたリップやアイカ ラー、チークの色使い、アイブロー、アイカ ラーの形、筆使いを習得する。	2通	40		Δ		0	0			0	
31		0		雑貨	ジュエリーデザインを学び、実際に制作する。	1通	40		Δ		0	0		0		
32		0		ノミシング Π 📗	ファッションマーチャンダイジングの基礎を学ぶ。ファッションビジネス検定 II の「ファッション造形知識」を中心とした授業。	2 2 2 2 3 2 3	60		0			0		0		
33		0		ブライダル	多様化するブライダル業界の現状の理解と柔軟 な発想力の習得を目指す。	7 1通	60		0			0			0	
34		0		スタイリスト	撮影現場におけるスタイリストの役割を知る。	2通	60		Δ		0	0		0		
35																
			合	<u></u>	34		科目				2000	単	位	(単化	立時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件: 生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験による認定を行い、所定 の全教育課程を修了したと認められるとき	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法: 通学	1 学期の授業期間	20 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

横浜ファッショ		R/_ H0 3 1 /.	目	校長名			所在地		
		昭和51年8月1	16日 校長	櫻井則子	(住所) 村	230-0051 黄浜市鶴見区鶴見中9	 1-9-5		
デザイン専門学 設置者名	- 作文	設立認可年月	月日 作	代表者名	,,)45-501-5460	所在地		
学校法人 桜井宇	学園	平成20年4月	1日 理事長	長 櫻井武美	(住所) 村	230-0051 黄浜市鶴見区鶴見中9 145-501-5460	₹1-9-5		
分野		認定課程名	認定学科		専門	士認定年度	高度専門士認定年	年度 職業実践	専門課程認定年度
服飾・家政	服飾	・家政専門課程	ファッションク 科	リエイティブ		部科学省 告 示第146号	_	平成	艾26年4月1日
学科の目的	デザイナー する。	・パタンナー・縫製職	等の技術職に就くた	めに必要な専門	門知識と技術を	を習得すると共に、関連	車資格試験の取得を目指	し、アパレル企業が必	要とする人材を育成
子科の特徴(取侍可 		オーマルスペシャリス				贪定、色彩検定、秘書 扌	支術検定、ファッション	ビジネス能力検定、リ	テールマーケティン
笙)		28.6%							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な	応総授業時数又は総単 数	道位 講	義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜間	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,720 単位時間	365	単位	O 単位時間 単位	1,310 単位時間 単位	O 単位時間 単位	45 単位時間 単位
生徒総定員	生徒到	₹員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数) (B)	留学生害	引合(B/A)	1			
40 人	17	Д	0 人	0) %				
	■卒業者数 ■就職希望	效 (C) 望者数 (D)	11 8		人				
Ī	■就職者夠	数 (E)	4		<u> </u>				
I	■就職率		<u>0</u> 50		<u>人</u> %				
		こ占める地元就職者の害			%				
Ī	卒業者に	占める就職者の割合(E/C)						
	■進学者勢		36		人				
就職等の状況	■その他								
				4 = 5+ 1- 1+ 1= 1					
	(令和 		に関する令和4年5月	1日時点の情報)				
									
	令和4年度		/ih						
(A	(体)ダハザ:	ジャパンリミテッド	1也						
I	民間の記	平価機関等から第三者	計評価:			無			
第三者による	※有の場合、	例えば以下について任意	意記載						
学校評価									
		評価団体:		 			評価結果を掲載した		
		評価団体:		受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL		
当該学科の				受審年月:					
ホームページ	nttps://yfc	評価団体: d-c.com/course/creativ	ve night/	受審年月:					
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ	ve night/	受審年月:					
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定)	ve night/	受審年月:				1, 720 単位時間	
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定) 総授業時数						1, 720 単位時間 300 単位時間	
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	ve night/ と連携した実験・実 と連携した演習の授	習・実技の授業				1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間	
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	と連携した実験・実	習・実技の授業				300 単位時間	
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	と連携した実験・実	習・実技の授業	時数	授業時数		300 単位時間 0 単位時間	
ホームページ 上 URL		d-c.com/course/creativ 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	と連携した実験・実	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・	時数 実習・実技の	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間	
ホームページ URL		時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	と連携した実験・実施と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の)授業時数	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間	
ホームページ URL		時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	と連携した実験・実法と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の)授業時数	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	と連携した実験・実法と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の)授業時数	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間	
ホームページ URL URL と連携した実 習等の実施状況	(A:単位	時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修授 (うち企業	と連携した実験・実法と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の)授業時数	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間	
ホームページ URL 世 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業 数による算定)	と連携した実験・実法と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授	時数 実習・実技の)授業時数 業時数)	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した第8	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業	時数 実習・実技の)授業時数 業時数)	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
ホームページ URL 世 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したする きと連携したインター と連携した実験・実施と連携した実験・実施と連携した演習の授業	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業	時数 実習・実技の)授業時数 業時数)	授業時数		300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したする きと連携したインター と連携した実験・実施と連携した実験・実施と連携した演習の授業	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 選・実技の授業 業時数	時数 実習・実技の)授業時数 業時数) 時数			300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数のお企業等と連携したのでである。またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 等時数 た必修の実験・	時数 実習・実技の)授業時数 業時数) 時数			300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数のお企業等と連携した方をできるでである。 まと連携したのでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 等時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の 決業時数 業時数) 時数 実習・実技の)授業時数			300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 世 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携しつうち企業等と連携したインターを連携した大変を連携した。 を連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した方の授業をである。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 等時数 た必修の実験・ た必修の演習の	時数 実習・実技の 決業時数 業時数) 時数 実習・実技の)授業時数			300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携しつうち企業等と連携したインターを連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したする。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の	時数 実習・実技の 決業時数 業時数) 時数 実習・実技の)授業時数			300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL 世 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### display	と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したする。 等と連携したインターを連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した演習の授業を連携したする。 まは、ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実習・実技の 受業時数 等の 実業時数 で表する で表する。 で表する。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ		ホームページURL	300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL URL 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### ### ### ### #####################	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携したまり、またまないでは、またまでは、またまでは、またので、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実習・実技の 業時数 等数 実業技の 受援等数 (専修学	授業時数	ホームページURL	300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
ホームページ URL **等のと連携した実 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(A:単位	### Section	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携したまりまた。 を連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携したので表演である。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実 実 き き き き き き き き き き き き き き き き き	授業時数	ホームページURL 第1号)	300 単位時間 0 単位時間 1,720 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 单位 2 人	
ホームページ URL 業等のと連携を表す。 と連携を表す。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(A:単位	### Section of the image of t	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。と連携したまり、一次を連携した。実際の授業等とを連携した。実際の授業等と連携した。実際の受験を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実 実 要 等 数 等 等 数 等 等 数 (事 修 学 (事 修 学 (事 修)	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 单位 单位 人工 2 人 2 人 0 人	
ホームページ URL 業等の と連携状かに を を は は は は は は は は は は は は れ い に の の 属性 (事件)	(A:単位	### Section of the image of t	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。と連携したまり、一次を連携した。実際の授業等とを連携した。実際の授業等と連携した。実際の受験を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実 実 き き き き き き き き き き き き き き き き き	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 人人 0 人	
ホームページ URL 業等の と連携状かに を を は は は は は は は は は は は は れ い に の の 属性 (事件)	(A:単位	### Section of the image of t	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。と連携したまり、一次を連携した。実際の授業等とを連携した。実際の授業等と連携した。実際の受験を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実 実 き き き き き き き き き き き き き き き き き	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 4位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 人人 0 人	
ホームページ URL 世 業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	(A:単位	### Section of the image of t	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。と連携したまり、一次を連携した。実際の授業等とを連携した。実際の授業等と連携した。実際の受験を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの授業 業時数 た必修の演習の ーンシップの授業 た必修の実験・ た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の たがままます。	時数 実 実 き き き き き き き き き き き き き き き き き	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 人人 0 人	
ホームページ URL	(A:単位	### Section	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。実際を連携した。実際では、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きなのででは、大きないのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないのでは、大きなのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、いきないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのでは、いきないのではないではないでは、いきないのではないでは、いきないでは、いきないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	習・実技の授業	時数 実 実 要 等 数 ま 要 数 ・ 実 数 ・ 事 り の り の り り り り り り り り り り り り り り り	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 4位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 人人 0 人	
ホームページ URL 業等のと連携を表す。 と連携を表す。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	(A:単位 (B:単位	### Section of the image of t	と連携した実験・実施を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した演習のと連携した。 ままり から はままり から はままり から はままり から はままり から はいっと を はいっと を がら ない で で の で の で の で の で の で の で の で の で の	習・実技の授業	時数 実 実 要 等 数 ま 要 数 ・ 実 数 ・ 事 り の り の り り り り り り り り り り り り り り り	授業時数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	300 単位時間 0 単位時間 300 単位時間 300 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 4位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 人人 0 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務課のもとに、委員会を設置する。(学校法人桜井学園組織図参照)

授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行う際に、企業及び業界団体から業界の現状、必要とされる知識、技能を聞き 出し、校長及び担当教員が適切な授業内容を検討し、意思決定を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	1
金原 正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
遠藤 至彦	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
櫻井 則子	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
中川 香奈	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
真壁 瞳	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時 (実績))

第1回 令和4年11月10日 15:00~17:00 第2回 令和5年 3月16日 15:00~17:00 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

近年、SDGsを推進する企業、学校等団体が増えていることを受け、SDGsのための身近な取り組みを授業に組み入れられないかとの意見から、その一環として、古着のリメイクを組み入れた。家から着られなくなった衣服を持参し、それらをまた着られるものにするためのアイデアやデザインのスキルアップを養いつつ、縫製技術の向上にもつなげたい。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容を事前に調整し、スカーフと取り入れた作品制作を通じて、素材(シルク)の特性や柄・形状を活かしたデザインを 学ぶシルクの縫製上の取り扱いを学ぶ。制作した作品のプレゼンテーションを学ぶこととした。

週1回3時間 終了時にプレゼンテーションを行い、企業講師が評価基準(作品から習得度を3段階で評価および出席率70%以上)に沿って評価し、校長が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
	各自の課題を通して薄地やシルク素地などの特性を知り、	
	縫製およびデザイン性の高いの肩縫製技術を学ぶ。横浜	
	ファッションウィーク実行委員会主催のファッション	横浜シルクミュージアムショップア
服飾造形Ⅱ	ショーに参加するため、企業よりスカーフの柄と形を活か	ソシエイション
	した作品づくりをする。デザイン・仕上がり・プレゼン	本川 久幸
	テーションを企業等の講師が評価を行い、校長が単位を認	
	定する。	

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員研修規定に基づき、様々な教育課題に対応し、学生にとってよりよい教育を進めるために、教師の指導力の向上を図るための研修を計画し実施する。また、外部の研修へも積極的に受講するよう促す。業界団体および企業等の職員の指導が直接受けられる機会を設け、常に業界の現状に即した内容を効果的な方法で指導できるように能力及び資質の向上を図ることとする。

(2) 研修等の実績

期間:

①専攻分野における実務に関する研修等

令和4年6月3日(金)

研修名: CLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

ッ・ 常任講師

CLOのプログラムがアパレル業界でどの様に活用されているかとデモンストレーションによってパターンを平

内容 面から三次元にする方法を学んだ。基本課題の平面パターンを三次元でシュミレーションし、画面上で平面の

パターンがどの様に三次元で表現されるかについて理解を深め、指導に活かした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 海外におけるアパレル企業の販売事情 連携企業等: 佐々木 綾

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: 常任講師

アメリカのトレンドアイテムやアメリカのアパレル企業の販売方法について学んだ。アメリカではSNSを活用

内容 した販売方法が主流となっており、今後日本の販売方法もアメリカの様になっていくことを理解し、指導方法

に活かした。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 最新のCLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

期間: 令和5年11月10日(金) 対象: ファッションクリエイティブ科 常任講師

内容 バージョンアップした最新のCLOの操作方法を知り、学生のデザイン制作の指導に活かす。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「働くことについて考える」 連携企業等: 株式会社プロセスユニーク

期間: 令和6年2月5日(月) 対象: 常勤講師

内容 働く際のルールについて知り、長時間労働や過労死などの労働問題に関して理解を深め、学生指導に活かす。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。 | 関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

①学校関係者評価委員が学校評価を行い、その結果を広く公表し、透明性の高い評価にすること。

②学校関係者評価委員会を開き、評価結果をもとに、学校運営や教育活動に反映させること。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念等を明確に示されているか。 教育目標は定期的に見直されているか。 教育理念などが教職員・学生に浸透しているか。 教育理念などを公表しているか。
(2)学校運営	理事会が定期的に開催されているか。 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	カリキュラムには教育目標が反映されているか。 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作品 や見直し等が行われているか。 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 目標に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか。 非常勤講師との情報の共有を図っているか。
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか。 資格取得率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。
(5)学生支援	学生相談に関する体制は整備されているか。 進路・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 学生の健康診断を実施しているか。 保護者と適切に連携しているか。 卒業生への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 防犯・防犯訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。
(6)教育環境	教室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか、 教育用機械や備品は整備され、活用されているか。図書室は適切に整備され ているか。 保健室は適切に整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 入学選抜の時期、方針、方法は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務について会計監査が適切に行わているか。
(9)法令等の遵守	法令や専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しているか。
(10)社会貢献・地域貢献	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学習成果:インターンシップの機会があったら是非参加させてほしいとの意見がある中、インターンシップではないが学生服 の採寸や歌手のコンサートの裏方のアルバイトの依頼があり、一部の学生が参加した。関連分野での経験を得ることが出来る 機会となった。

学生支援:高等教育の修学支援新制度の対象機関(確認校)として認定を受けていることにより、引き続き、給付奨学生への 学費負担軽減の支援をする。また、専門実践教育訓練給付の講座指定の認定を受けていることにより、受給資格のある夜間部 の社会人へ利用を勧めることとする。

学生の受入れ募集: A O 入試エントリー受付期間終了後の特典のない出願希望者に対して、特別エントリーとして扱い、検定料 を減免した。また、経済的に不安のある入学希望者へ奨学金や学費分割払いについて積極的に説明を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

			111111111111111111111111111111111111111
名前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	業界団体等
金原正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
遠藤 至彦	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

⟨ホームページ⟩・広報誌等の刊行物 ・ その他()

))

https://yfd-c.com/information/disclosure.html URL:

公表時期: 令和5年9月29日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関す る情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①教育活動及び学校運営の状況に関する情報を積極的に公表し、関係団体及び企業との連携を密接なものとする。
- ②教育活動及び学校運営の状況に関する情報を公表し、学校と家庭・地域社会が連携して行う教育を推進する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	目標 経営方針 校長名 所在地 連絡先 沿革
(2)各学科等の教育	定員 資格取得
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等への取り組み状況 就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	奨学金制度 教育ローン 提携寮
(7)学生納付金・修学支援	納付金
(8)学校の財務	貸借対照表 資金収支計算書
(9)学校評価	学校評価表
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ 入学要件 卒業後の進路
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://yfd-c.com/information/disclosure.html URI

公表時期: 令和5年9月29日

授業科目等の概要

	(別	及飾	· 家	政専門課程ファ	ッションクリエイティブ科(夜間部))令和4年	度										
		分類	į			無コ	授		授	受業ス		場	所	教	員	<u></u>
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	大 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技		校外	専 任		企業等との連携
1	0				基礎知識とデザイン表現による社会貢献。 創造性を豊かにする。	1通	80		0			0			0	
2	0			テキスタイル	服の元となる生地について、基本知識を習得する。素材感の違いを演習で形にすることで理解する。		20		0			0			0	
3	0			スタイル画Ⅰ	基本8頭身のプロポーションの人体の描き方を習得し、服のディテールや素材感を表現する技術を身に付ける。		20		Δ		0	0			0	
4	0			デッサン・ク ロッキー I	鉛筆デッサンの基本となるグラデーションスケールの書き方から始まり、生物デッサン、石膏デザインなどを描くことでデッサンの技術を習得する。実物を描くことで立体感と空間に意識を向けさせる。人体の骨格と立体感を覚えさせる。	1 13	20				0	0		0		
5	0			パターンメー キング理論 I	基本的なアイテムのパターンメーキングの基礎 知識を習得する。	1通	70		0		Δ	0			0	
6	0			パターンメー キング造形 I	理論 I で修得した知識をもとに基本的なアイテムの製図の技術を習得する。	1通	100		4		0	0			0	
7	0				CAD (Computer Aided Desing)基礎操作を学び、 スカートやブラウスの展開などを実習する。	1通	30		4		0	0		0		
8	0			縫製基礎実習 I	服飾造形において必要となる手縫い、ミシン縫いの基礎について学び、デティールの部分縫い を製作する。		80		Δ		0	0		0		
9	0			服飾造形I	繊維・糸・生地の知識、柄の名称、アイテムの名称、服飾の歴史などファッション関連の基礎について広く学び、実習ではタイトスカート・ブラウス・ワンピース・パンツ・ジャケットの 経製技術について学ぶ。	1通	280		Δ		0	0			0	
10	0			色彩学 I	AFT色彩検定のテキストを使用し、色彩の基礎を 学び、検定試験3級の資格取得を目指す。配色の 応用をファッション・インテリアで考えること を学ぶ。	1通	160		0		Δ	0			0	
11	0			ファッション デザインⅡ	年間を通して制作する作品のデザインを考える。アパレルデザインの基礎をリサーチしなが ら修得する。		100		Δ		0	0			0	
12	0			スタイル画Ⅱ	1年次に学んだ基礎を元にファッションイラスト の表現力を身に付ける。社会で使えるテキスタ イルの基礎知識を学ぶ。		35				0	0			0	
13	0			クロッキー	人物クロッキーを通して人体の骨格やプロポーションを理解し、一般的な人体のバランスが見 えなくても描ける技術を身に付ける。		25				0	0		0		
14	0			パターンメー キング理論 II	パターンメーキングの基礎知識を習得し、ハンガーイラストを見てパターンを作図し、トワルを組む技術を習得させる。パターンメーキング技術検定3級の資格取得を目指す。	2通	170		0		Δ	0			0	
15	0			パターンメー キング造形 II	1年次の基礎的な知識を応用し、高度なアイテム のパターンメーキングに取り組み、技術の向上 を目指す。		160				0	0			0	
16	0			パターンメー キングCAD II	基礎をふまえ、さらに発展したパターンおよび グレーディングの操作技術を習得する。	2通	50				0	0		0		
17	0			服飾造形Ⅱ	取り扱いの難しい素材の繊維・糸・生地の知識を習得し、その特性を活かしたデザイン発想のセオリーと手順について学び、各自の課題のデザインをする。	いる	300		Δ		0	0			0	0
18	0			ドレーピング	立体裁断の基礎知識を習得し、実践で技術を身に付ける。	2通	20		Δ		0	0			0	
19																
20																
			合	計	18	7	科目				1720	単	位	(単位	2時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験による認定を行い、所定 卒業要件: の全教育課程を修了したと認められるとき	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法: 通学	1 学期の授業期間	20 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

#10 / 1977 (1977) では、	### 1974 / 1979 校	平成26年4月1日 レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 り 単位時間
特別の	設置名名 設定の日本月日 1名名名名 T 23-10051 別会的 別会的 対金的 対金的 別会的 対金的 別会的 別会的 別会の	平成26年4月1日 レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 り 単位時間
### 1921年 日本の 1000年 100	学校次人 桜子中園	平成26年4月1日 レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 り 単位時間
### 2000年	安全 お店を担任を 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	平成26年4月1日 レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 り 単位時間
### 1987	照清・液成	平成26年4月1日 レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 り 単位時間
### ### ### ### ### ### ### ### #######	# 他の・家族 では、	レ企業が必要とする人材を 必書技能検定、アシスタン 実技 0 単位時間
	学科の告報 (報用の 単版件の総合資産:ファッション販売能力技変、ファッションビジネス能力検変、リテールマーケティング検定、商品技術展示技能士、色彩技変、クランディングブランアー 検定、ファッションビジネス能力検変、リテールマーケティング検定、商品技術展示技能士、色彩技変、から工作・企画を対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対して、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、、一般に対し、対し、、一般に対し、、一般に対し、一般に対し、、一般に対し、一般に対し、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、一般に対し、、例に対し	必書技能検定、アシスタン実技0 単位時間
	学科の目的	必書技能検定、アシスタン実技0 単位時間
カース・フィングランド・技術、フェー・バス・ベントのストラントストラングスを発達している。	### *** ***	実技 0 単位時間
カース・フィングランド・技術、フェー・バス・ベントのストラントストラングスを発達している。	### *** ***	実技 0 単位時間
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	# 1 を	0 単位時間
************************************	修業年限	0 単位時間
2	接来年級	0 単位時間
2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 単位時間
中央記した。 中央記した。 中央記した。 中央記した。 中央記した。 中央記した。 中央記した。 日本	全位 安市 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
# はできる # はてきらん 第7年後 (**) 第7年後 (**) 第7年後 (**) 1	生徒総定員 生徒実員(A) 留学生数 (主義支資内数 (B) 留学生割合(B/A) 20 人 7人 0人 0名 ■ 公案者数 (C) 0 人 ■ 数報名 第2 第2 (D) 0 人 ■ 数報名 第2 第2 (D) 0 人 ■ 数報名 第2 (D) 0 人 ■ 数報名 (E/C) 0 人 ■ 数報名 (E/C) 0 分 ■ 数報者 (E/D) 0 分 ■ 本章右に占める報道をの割合 (E/C) 0 分 分 の 分 の 分 の 分 の 分 の 分 の 分 の 分 の 分 の	単位
1	20 人 7 人 0 人 0 % 季菜子教 (C) 0 人 動歌協希望者教 (D) 0 人 動歌協希望者教 (D) 0 人 動歌協希望者教 (D) 0 人 動歌協希望者教 (F) 0 人 動歌略を復 (E) 0 人 動歌略を復 (E) 0 人 動歌略を任力の の % 動歌を作力の の % 一	
	■ 平業者数 (C) 0 人	
### (1975年 1975年	■ 示照希望者数 (D) 0 人 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1 小 □ 1	
# (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	■放棄者数 (E) 0 人 ■ D	
	■ 試験率 (E/D) 0 % ■ 就職者(E/D) 0 % ■ 辛業者に占める就職者の割合 (E/C) 0 % ■ 連挙者数 0 人 ■ その他 (令和 4 年度卒業者に関する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報) ■ 主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業者に関する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報) ■ 主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業者に関する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報) ■ 主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業者に関する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報) ■ 主な就職先、業界等 (令和 4 年度本業年) ■ 民間の評価機関等から第三者評価:	
	● 文学者に占める就職者の割合(E/C) 0 % ■ 選挙者数 0 人 ■ その他 《令和 4 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報》 ■ 主な就職先、業界等 (令和4 年度卒業生) ■ 民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 ― 野価団体: 受害年月: 評価結果を掲載した ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 「方企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 1,720単位時	
# 正本を改	通進学者数	
■性子2度	 就職等の状況 (令和 4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 第三者による 学校評価 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 野面団体: 要審年月: 評価結果を掲載したホームページURL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 56企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時 	
新典の記性 (写在家)	(令和) 4 年度卒業者に関する令和 4 年 5 月 1 日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業生) 第三者による 学校評価	
# 日本のお話した。 第2年 (■主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業生) ■ 民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
# 日本のお話した。 第2年 (■主な就職先、業界等 (令和 4 年度卒業生) ■ 民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
(今月34年に本命中) (今月34年に本命中) (今月34年に本命中) (本年に、	(令和 4 年度卒業生) □ □ □ □ □ □ □ □ □	
第二曲によう	第三者による 学校評価 第三者による 学校評価 部価団体: 受審年月: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価結果を掲載した ホームページURL https://yfd-c.com/course/business night/ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
第三本による	第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定)	
第三本による 字校門	第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定)	
第三本による 字校門	第三者による 学校評価	
中国はは、	学校評価 評価結果を掲載したホームページURL 当該学科のホームページ URL https://yfd-c.com/course/business night/URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
当版学刊の ホームページ URL (A:単の時間による東京) (B:単の数による別定) (B:単の数による別に対した実験・実置・実践の対象時数 単位 (方の企業等と連携した実験・実置・実践の対象時数 単位 (方の企業等と連携した必称の実置の対象時数 単位 (方の企業等と連携したが、単映等に連携したがの実置の対象時数 単位 (方の企業等と連携したとがの実置の対象時数 単位 (方の企業等と連携したとがの実置の対象時数 単位 (方の企業等と連携したとがの実置の対象時数 単位 (本体学の変置と対象が対象に対した別面にと述ましてが等のよとなるまでは異常に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に	評価団体: 受審年月: ホームページURL 当該学科の	
### (4 : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間による異常) A : 単位時間に表した実際を選集した実際を選集した機能の要素を要素を選集したが必要を要素を要素を要素を関係したのでの異常の要素を製造したのでの異常の要素を製造したのでの異常の要素を製造したのである。 A : 日 : 単位数による異常) A : 単位数による異常と連携した実験・実置・実技の授業時数 単位数 一方の条件を整整 単位数 一方の条件を整整 単位数 一方の条件を整整 単位数 一方の条件を建筑したインターンシップの授業時数 単位数 一方の条件を建筑したインターンシップの授業時数 単位数 一方の条件を建筑したインターンシップの授業時数 単位数 一方の条件を建筑とはまるであって、最終等性関係的。 「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校の専門経程を移すした。「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校設高工業科条第日第日中) A : 「海豚学校設高工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業工業	ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
URL (A. 単位物的による算度) (A. 単位物的による算度) (A. 単位物的による算度) (A. 単位物的による算度) (A. 単位物的による算度) (A. 単位物的による算度) (B. 単位物的 (B. 単位数による可定) (B. 単位数による可定) (C. 単位物的 (B. 単位数による可定) (C. 単位物的 (B. 単位数による可定) (C. 単位数による可能) (C. 単位の数による可能) (C. 単位的的 (URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80 単位時	
(A: 単位学的による意定) R	(A:単位時間による算定) 総授業時数 1,720単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80単位時	
お授養的数	総授業時数 1,720 単位時 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 80 単位時	
うち企業等と連携した実置等の実施状況 0 単位時間 うち企業等と連携した海宮の投棄時数 1.720 単位時間 うち企業等と連携した必修の実施・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の実営の投棄物数 0 単位時間 3 ち企業等と連携した必修の実営の投棄物数 0 単位時間 1.720 単位時間 1.720 単位時間 2.5 企業等と連携した必修の実営の投棄物数 0 単位時間 2.5 企業等と連携した必修の実営の投棄時数 1.720 単位 2.5 企業等と連携した必修の実習・実技の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した海宮の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した海宮の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した必修の実理の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した必修の実施・実習・実技の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した必修の実施 単位 3 ち企業等と連携した必修の実施の授業・実習・実技の授業時数 単位 3 ち企業等と連携した必修の実施の授業・実習・実技の授業時数 単位 4 を変]
1,720 単位時間 1,20 単位時間 2,20 単位 2,2]
うち企業等と連携したを 第一次 で	うち企業等と連携した演習の授業時数	1
② 学士の学位を有する名等 ② 学士の学位を有する名等 ② 学士の学位を有する名等 ② 学士の学位を有する名等 ② 学士の学位を有する名等 ② 学士の学位を存する名等 ② 学士の学位を存する名等 ② 学士の学位を存する名等 ③ 高等字校数論等接続者 ③ 高等字校数論等接続者 ③ 高等字校数論等接続者 ③ 高等字校数論等接続者 ③ 高等字校数論等接続者 ④ 体を学校数置基準第41条第1項第5号 ○ 人		1
企業等と連携した実 留等の実施状況 (A、B.1) (B:単位数による算定) 単位 一般授業時数		-
2年表で連接した実 電客の実施状況 (A、Bいずれかに 記入) 日:単位数による算定) 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		-
(日:単位数による算定)	企業寺と連携した美	1
総授業時数 単位	(A、Bいずれかに (B・Bは数に k A 笛字)	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した液習の授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演員・実習・実技の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したがの演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の (事修学校設置基準第41条第1項第1号) (事修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 計 1 人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 1 人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人	記入 <i>)</i>	\neg
単位 うち必修授業時数		\neg
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 当位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 単位 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	うち企業等と連携した演習の授業時数	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	うち必修授業時数単位	\supset
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した規間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 1人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 1人	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数単位	_
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の		_
の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 となる者 ② 学士の学位を有する者等	単位	
の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 となる者 ② 学士の学位を有する者等		
の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 となる者 ② 学士の学位を有する者等	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてそ	
となる者 ② 学士の学位を有する者等	の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の _(車体学校設署其進第/1条第1項第1号) 0 1	
教員の属性 (専任教 員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ○ 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) ○ 人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の		
教員の属性 (専任教 員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ④ 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の	② 学士の学位を有する者等 (車修学校設置基準筆41条筆1項筆2号) 1 μ	
教員の属性 (専任教 員について記入) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 1人 上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の	② 享笙学校教諭笙怒除老 (車條学校設置其進筆/1条等1頂笛?是) 0 人	
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人 計 1 人 上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の	教員の属性(専任教	
計 1 人		
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の		
	ト記①~⑤のうた 宝教宗教品(公照におけてわれてないよの宝教の経験をキャー よっ 京英の宝教の	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務課のもとに、委員会を設置する。(学校法人桜井学園組織図参照)

授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行う際に、企業及び業界団体から業界の現状、必要とされる知識、技能を聞き出 し、校長及び担当教員が適切な授業内容を検討し、意思決定を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
松村 俊幸	横浜繊維振興会	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	1
金原正和	株式会社金原	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
	株式会社佳雅	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
野村 克己	糸福商事有限会社	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	3
櫻井 則子	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
中川 香奈	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_
真壁 瞳	学校法人桜井学園 横浜ファッションデザイン専門学校 教員	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「−」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年11月10日 15:00~17:00 第2回 令和5年 3月16日 15:00~17:00 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

情報化社会のただ中、アパレル企業でもSNSの活用が不可欠であるため、即戦力としての技能を身に付けてほしいとの意見があり、プロのSNSディレクターからファッション業界で求めらる情報提供のスキルを学ぶ授業を組み込むこととした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

即戦力となる人材育成:常に業界の現状を十分に把握し、アパレル業界で活躍するために必要となる専門知識、技術を身につける教育を進める。

豊かな人間性の育成:社会で必要となるコミュニケーション能力、創造力を育むため、企業等の意見をもとに授業内容の充実を 図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容を事前に調整し、アパレル企業が必要とする人材を育成する上で販売員に必要なマナー・接客技術を実習(ロールプレイング)を通して身に付けることとした。

月1回2時間 終了時にレポート提出、企業講師が評価基準(レポートの内容から習得度を3段階で評価および出席率70%以上)に沿って評価し、校長が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
販売技術 I	ファッション販売員としての必要な基礎知識をもとに、販売技術をロールプレイングを通して習得する。また、現役販売員から販売員としてのマナーや知識を習得し、よりスキルアップする。終了時にレポートを提出、評価基準に沿って企業等の講師が評価を行い、校長が単位認定を行う。	糸福商事有限会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

教職員研修規定に基づき、様々な教育課題に対応し、学生にとってよりよい教育を進めるために、教師の指導力の向上を図るための研修を計画し実施する。また、外部の研修へも積極的に受講するよう促す。業界団体および企業等の職員の指導が直接受けられる機会を設け、常に業界の現状に即した内容を効果的な方法で指導できるように能力及び資質の向上を図ることとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: CLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ

対象: ガネー 期間: 令和4年6月3日(金)

CLOのプログラムがアパレル業界でどの様に活用されているかとデモンストレーションによってパターンを平

面から三次元にする方法を学んだ。基本課題の平面パターンを三次元でシュミレーションし、画面上で平面の 内容

パターンがどの様に三次元で表現されるかについて理解を深め、指導に活かした。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 海外におけるアパレル企業の販売事情 連携企業等: 佐々木 綾

対象: 常任講師 期間: 令和4年8月1日(月)

アメリカのトレンドアイテムやアメリカのアパレル企業の販売方法について学んだ。アメリカではSNSを活用

した販売方法が主流となっており、今後日本の販売方法もアメリカの様になっていくことを理解し、指導方法 内容

に活かした。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

最新のCLOの活用方法 連携企業等: 株式会社ユカアンドアルファ 研修名:

対象: ファッションクリエイティブ科 常任講師 期間: 令和5年11月10日(金)

バージョンアップした最新のCLOの操作方法を知り、学生のデザイン制作の指導に活かす。 内容

②指導力の修得・向上のための研修等。

研修名: 「働くことについて考える」 連携企業等: 株式会社プロセスユニーク

期間: 令和6年2月5日(月) 対象: 常勤講師

内容 働く際のルールについて知り、長時間労働や過労死などの労働問題に関して理解を深める。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。ま た、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

①学校関係者評価委員が学校評価を行い、その結果を広く公表し、透明性の高い評価にすること。

②学校関係者評価委員会を開き、評価結果をもとに、学校運営や教育活動に反映させること。

|(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

や見面し等が行われているか。	ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(2) 学校連営 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 別選か野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラ・や見度に多が行われているか。 別選か野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラ・や見度に多が行われているか。 成品評価・単位認定・進級・卒業半度の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系が改位置づるか。 日報に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた数しているか。 非常勤請節との情報の共有を図っているか。 当時事事の向上が図られているか。 当時事事の向上が図られているか。 当年事事の前上が図られているか。 当年事事の前上が図られているか。 当年事事の前上が図られているか。 当年事事の前上が図られているか。 当年事事の中上が図られているか。 当年事事の中上が図られているか。 当年事事の中上が図られているか。 当年事事の中上が図られているか。 当年事事の中上が図られているか。 当年初期に関する体制は整備されているか。 学生の根拠に、学校の教育活動の改善に完ているか。 学生の推進しているか。 学生の経過しているか。 学生の建設による中年世紀しているか。 学生の建設による中年世紀といるか。 「保証者と適切に連携しているか。 「保証者と適切にといるか。 「保証者と適切にといるか。 「特別・海に対する整性 はよる・本学性のの支援・不法長人・災害に対する整備は万全か。 「中学・中ル・ラスメントは対する防止・対応策が整備されているか。 「中学・中ル・ラスメントは対する防止・対応策が整備されているか。」 「中学・中の学・中の学・中の学・中の学・中の学・中の学・中の学・中の学・中の学・中	里念・目標	教育目標は定期的に見直されているか。 教育理念などが教職員・学生に浸透しているか。
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラ・や見面に参析行われているか。 成裁評価・単位窓定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づるか。 日本に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 日本に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた核」 しているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた核」 しているか。 対職率の向上が図られているか。 資格取得率の向上が図られているか。 資格取得率の向上が図られているか。 全業生・在校年のが建設とび評価を把握しているか。 卒業性・在校年のが建設とび評価を把握しているか。 卒業性・を存むがは定理とびいるか。 学生相談に関する体制は整備されているか。 要学生のを接入を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の変技体制はあるか。 が記・防犯別制裁の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 もわれているか。 初記・防犯別制裁の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 物室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 特定の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 特定の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 クラギルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 を健室は遊切に整備されているか。 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時か、 か、要集要項の内容は適切か。 学生募集活動においてき替を構入、就職状況等の情報は正確に伝えらか。 対象についてき替を着いたのない。 ・学、説明時、おは、対策に関切か。 学生解け金は妥当なものとなっているか。 り表明的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 対象について会計整定が適切に行わているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開したの、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しから、		
(4) 学修成果 ②存格取得率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。 理学・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 在業権のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活ているか。 進路・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 理学生の健康診断を実施しているか。 保護者への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組われているか。 防犯・防犯・防犯・耐流無縁の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 保健者は適切に整備されているか。 保健者は適切に整備されているか。 保健者は適切に整備されているか。 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時か。 深内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えらか。 学生新付金は妥当なものとなっているか。 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 学生納付金は妥当なものとなっているか。 財務 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守 「9) 法令等の遵守と適切な運営がなされているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しか。	舌動	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作品 や見直し等が行われているか。 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 目標に達しない学生に対し、適切なフォローがなされているか。 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか。
選挙・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 学生の健康診断を実施しているか。 学生の健康診断を実施しているか。 不業生への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組われているか。 防犯・防犯・耐犯・耐犯・耐犯・対応策が整備されているか。 セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。 数室の数や広さは、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 保健室は適切に整備されているか。図書室は適切に整備されているか。 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時がか。 人学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えらか。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えらか。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務 は、対策に対して会計監査が適切に行わているか。 日本のとなっているか。 日本のとなっているか。 は、全体・専修学校設置基準等の遵守と適切な連営がなされているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しか。	成果 <u>2</u>	資格取得率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用され
(6)教育環境 教育用機械や備品は整備され、活用されているか。図書室は適切に整ているか。 保健室は適切に整備されているか。 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時かか。 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられた。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務について会計監査が適切に行わているか。 は会や専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しか。	支援 支援 ·	進路・就職について相談できる担当者がいるか。 奨学金等、経済的支援は整備されているか。 学生の健康診断を実施しているか。 保護者と適切に連携しているか。 卒業生への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 防犯・防犯訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。
か。 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えらい。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 入学選抜の時期、方針、方法は適切か。 学生納付金は妥当なものとなっているか。 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財務について会計監査が適切に行わているか。 法令や専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開しか。	景境	
(8)財務	7 D受入れ募集 7 <u>1</u>	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか。 募集要項の内容は適切か。 学生募集活動において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられている か。 学校説明会、体験入学の時期や内容は適切か。 入学選抜の時期、方針、方法は適切か。
(9)法令等の遵守 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開し か。	-	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。
	等の遵守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。自己評価表を公開している
(10)社会貢献・地域貢献 (11)国際交流 (10)及び(11)については任意記載。	受流	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学習成果:インターンシップの機会があったら是非参加させてほしいとの意見がある中、インターンシップではないが学生服の 採寸や歌手のコンサートの裏方のアルバイトの依頼があり、一部の学生が参加した。関連分野での経験を得ることが出来る機会 となった。

学生支援: 高等教育の修学支援新制度の対象機関(確認校)として認定を受けていることにより、引き続き、給付奨学生への学費負担軽減の支援をする。また、専門実践教育訓練給付の講座指定の認定を受けていることにより、受給資格のある夜間部の社会人へ利用を勧めることとする。

学生の受入れ募集:AO入試エントリー受付期間終了後の特典のない出願希望者に対して、特別エントリーとして扱い、検定料 を減免した。また、経済的に不安のある入学希望者へ奨学金や学費分割払いについて積極的に説明を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月1日現在

			1-111-1-1-2
名 前	所属	任期	種別
松村 俊幸		令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	業界団体等
金原 正和		令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
遠藤 至彦		令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等
野村 克己	L — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(3年)	企業等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①教育活動及び学校運営の状況に関する情報を積極的に公表し、関係団体及び企業との連携を密接なものとする。
- ②教育活動及び学校運営の状況に関する情報を公表し、学校と家庭・地域社会が連携して行う教育を推進する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	目標 経営方針 校長名 所在地 連絡先 沿革
(2)各学科等の教育	定員 資格取得
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等への取り組み状況 就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	奨学金制度 教育ローン 提携寮
(7)学生納付金・修学支援	納付金
(8)学校の財務	貸借対照表 資金収支計算書
(9)学校評価	学校評価表
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ 入学要件 卒業後の進路
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ページン・広報誌等の刊行物・その他(

))

https://yfd-c.com/information/disclosure.html

公表時期: 令和5年9月29日

授業科目等の概要

	授業科日等の概要 (服飾・家政専門課程ファッションビジネス科(夜間部))令和4年度															
		分類							括	受業ス	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	位数	講	演習	実験・実習・実技	校内		専任		企業等との連携
1	0				ファッションのビジネス、マーケティング、マーチャンダイジングなどの基礎知識を学び、ファッションビジネス能力検定の「ファッションビジネス知識」を中心とした授業。ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指す。	1通	100		0			0			0	
2	0			テキスタイル I	服の元となる生地について、基本知識を習得する。素材感の違いを演習で形にすることで理解 する。		60		0			0			0	
3	0			商品知識I	ファッションデザイン、コーディネート、素材、サイズなどの基本的な知識を学ぶ。ファッションビジネス能力検定の「ファッション造形知識」を中心とした授業。	1 7字	80		0			0			0	
4	0			ファッション 販売 理論 I	ファッション販売の基本となる販売知識、販売技術、商品知識、売り場作り、マーケティング、販売スタッフの業務について習得し、ファッション販売3級の資格取得を目指す。	1通	80		0			0			0	
5	0			ファッション 販売 実習 I	コミュニケーションカ、協調性、主体性など、 ワークを通して体感して学ぶ。所作や言葉遣 い、商品の取り扱いなど販売の基礎を講義と ロールプレイングを通して学ぶ。	1通	80		Δ		0	0			0	0
6	0			リケールマー	仕入れから在庫管理やマーケティング、労働・経営管理の基礎をより専門的に学ぶ。売場の管理者クラスのレベルで、店舗管理に不可欠な従業員の育成や指導、仕入れや在庫管理といった知識を習得し、販売士2級の資格取得を目指す。	1通	170		0			0			0	
7	0			マーチャンダ イジング	ファッションビジネスに於ける社会貢献。店舗 運営、商品企画の研究。	1通	80		0			0			0	
8	0			色彩学 I	AFT色彩検定のテキストを使用し、色彩の基礎を学び、検定試験3級の資格取得を目指す。配色の応用をファッション・インテリアで考えることを学ぶ。	1.2番	170		0		Δ	0			0	
9	0			ビジネスマ ナー I	社会人に必要な基礎技能や資質を学び、秘書技 能検定試験2級の資格取得を目指す。	1通	40		0			0			0	
10	0			ファッション ビジネス Ⅱ	ファッション業界知識、流通戦略、マーケティング技法等を学び、ファッションビジネス能力 検定試験2級の資格取得を目指す。	2通	120		0			0			0	
11	0				現場で必要とされる人材としての知識を資料作 りをしながら正しい商品知識、品質管理につい て修得する。		80		0			0			0	
12	0			商品知識Ⅱ	アパレル販売に必要な素材、副素材、商品説明、ファッション雑貨などの知識を習得する。 ファッションビジネス検定2級の資格取得を目指 す。		100		0			0		0		
13	0			ファッション 販売 理論 II	ファッション販売のプロフェッショナルとして 必要な販売知識、販売技術、商品知識、売り場 作り、マーケティング、店舗運営管理について 習得し、ファッション販売3級の資格取得を目指 す。	2通	120		0			0			0	
14	0			明丰 宝羽巾	接客販売の基本とテクニックを講義とロールプレイングを通して学ぶ。ファッション業界で活躍するために必要な基本を身に付ける。	2通	40		Δ		0	0			0	
15	0			ディスプレイ	実際の店舗商品を想定し、その演出方法、厚生 の基本および展開方法を習得する。	2通	160		Δ		0	0		0		
16	0			マーケティン グリサーチⅡ	過去のファッションの歴史を知ることで、今を 分析する力を習得する。	2通	40		0			0			0	
17	0			ビ ジ ネ ス マ ナーⅡ	社会人に必要な基礎マナーや仕事をする際の心 得や基本姿勢を学ぶ。秘書技能検定試験2級の資 格取得を目指す。	2通	40		0			0			0	
18	0			ディスカッ ション	ひとつのテーマをグループで話し合うことで主 体性、コミュニケーション能力、アイデアを養 う。	2通	40		Δ		0	0			0	
19	0			マーチャンダ イジングⅡ	ファッションマーチャンダイジングの基礎を学ぶ。ファッションビジネス検定 II の「ファッション造形知識」を中心とした授業。		120		0			0		0		
20																
			合	t	19	;	科目				1720	単	位	(単位	立時	間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件: 生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験による認定を行い、所定 の全教育課程を修了したと認められるとき	1 学年の学期区分	2 期	
履修方法: 通学	1 学期の授業期間	20 週	
(留意事項)			

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3 (3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

その他

資金収支計算書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

(単位:千円)

【収入の部】	
科目	金額
学生生徒納付金収入	175, 097
手数料収入	1, 589
補助金収入	17, 298
資産売却収入	0
附属事業·収益事業収入	9, 384
受取利息・配当金収入	3
雑収入	11, 633
借入金等収入	0
前受金収入	65, 707
その他の収入	45, 687
資金収入調整勘定	△80, 506
前年度繰越支払資金	298, 437
収入の部合計	544, 329

(単位:千円)

【支出の部】	
人件費支出	109, 046
経費支出	78, 097
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	15, 751
設備関係支出	452
資産運用支出	0
その他の支出	49, 952
資金支出調整勘定	△514
次年度繰越支払資金	291, 545
支出の部合計	544, 329

貸借対照表

令和 5年 3月31日

(単位:千円)

(単位:十円)						
【資産の部】						
科目	金額					
固定資産	674, 735					
流動資産	293, 331					
資産の部合計	968, 066					
【負債の部】						
科目	金額					
固定負債	0					
流動負債	70, 093					
負債の部合計	70, 093					
【純資産の部】						
科目	金額					
第1号基本金	713, 799					
基本金の部合計	713, 799					
科目	金額					
翌年度繰越費収入(支出)超過	184, 174					
額						
純資産の部合計	897, 973					
負債及び純資産の部合計	968, 066					